

平成22年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2010

平成22年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2010

目次

凡例	04
美術館日誌	05
展示活動	
特別企画展等	06
常設展	10
常設企画展	13
展覧会関連記事	15
教育普及活動	
こどもアートアドベンチャー	19
夏休みこども美術館	20
講座	21
開館記念事業	22
福岡ミュージアムウィーク	22
博物館実習	23
職場体験学習	23
読書室企画	24
「キッズコーナー 森のたね」の開設	24
協力事業	25
ボランティア活動	26
出版物	30
調査研究活動	32
収集活動	
美術資料	34
図書・映像資料	36
美術資料の修復・貸出	37
市民による施設の利用	
展示室	39
講堂	45
教養講座室	45
実技講座室	47
版画印刷工房	50
入場者数一覧	
展覧会観覧者数	51
読書室利用者数	52
名簿	53

凡例

- 1 本冊子は福岡市美術館の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.22は平成22年の略字である。
- 2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。
- 3 主催展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。
- 4 「収集活動」の「美術資料」は平成22年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1 郷土作家(注1)	A 油彩等(注2)	
2 日本作家	B 日本画等(注3)	
3 海外作家	C 水彩等(注4)	
4 黒田資料	D 素描	
5 東光院仏教美術資料	E 版画	
6 松永コレクション	F 写真	
7 太田コレクション	G 彫刻等(注5)	
9 石村コレクション	Ha~Hf 工芸(注6)	作品番号
11 森山コレクション	I 書跡	
12 三宅コレクション	J 文書	
13 山崎朝雲資料	K その他	
14 一般古美術資料		
15 研究資料		
16 西本コレクション		
17 本多コレクション		
18 クスマコレクション		
19 藤森静雄資料		
20 森田コレクション		
21 川村コレクション		

注

1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
2. A(油彩等)の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いていても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
3. B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4. C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5. G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6. H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

- 5 図版の*は藤本健八氏撮影のものである。

平成22年

4月 6日(火)	新規ボランティア研修開始
4月 23日(金)	平成21年度の美術資料寄贈者に対する感謝状贈呈式
5月 15日(土)	第2回福岡ミュージアムウィーク開催(5月23日まで)
5月 22日(土)	「シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展」開会式
5月 23日(日)	「シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展」開催(7月19日まで)
7月 1日(木)	夏期の開館時間延長開始(8月31日まで)
7月 4日(日)	「キッズコーナー 森のたね」開設・オープニング企画「キッズコーナー 森のたね へようこそ」開催
7月 24日(土)	中学校交流ワークショップ2010「つなごう」(7月24日、25日の2日間)
8月 8日(日)	夏休みこども美術館2010こどもワークショップ「旅を旅する、絵画教室」(8月8日、22日の2回)
8月 11日(水)	夏休みこども美術館2010「美術館探検」(8月11日、14日、18日、21日、25日の5日間全10回)
9月 25日(土)	新規ボランティア認定式(9月25日、28日の2回)
10月 1日(金)	新規ボランティアの活動開始
10月 22日(金)	「シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い」展開会式
10月 23日(土)	「シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い」展開催(1月10日まで)
11月 3日(水・祝)	開館記念日につき常設展観覧料無料 開館記念事業「図録フェア」開催
11月 10日(水)	美術資料収集審査会(古美術)
11月 25日(木)	平成22年度第1回美術館協議会
12月 28日(火)	仕事納め

平成23年

1月 4日(火)	仕事始め
2月 15日(火)	「第45回福岡市美術展」入賞・入選者発表
2月 22日(火)	「第45回福岡市美術展」開催(3月6日まで)
2月 26日(土)	アートセミナー いまさらきけない!? アートのキ・ホ・ン vol.1「ピエンナーレって、なんね?」(2月26日、3月5日の2回)
2月 27日(日)	「第45回福岡市美術展」表彰式
3月 2日(水)	美術資料収集審査会(近現代美術)
3月 17日(木)	「ハンブルク浮世絵コレクション展」開催、同展開会式(5月8日まで)(本展は平成23年度の事業)
3月 19日(土)	つくって!わかる?アート講座 vol.5「布に模様をえがく: 藍染型抜染」(3月19日、20日の2回)
3月 24日(木)	美術資料収集審査会(古美術)
3月 29日(火)	平成22年度第2回美術館協議会



▲新規ボランティア研修



▲「第45回福岡市美術展」表彰式

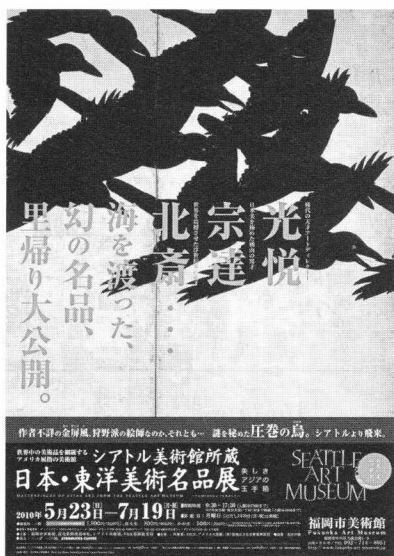
特別企画展等

美しきアジアの玉手箱

シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展

会期：平成22年5月23日(日)―7月19日(月・祝)

会場：特別展示室A



▲ポスターB2



▲会場風景

内容

アメリカ屈指の美術館、シアトル美術館の日本・東洋美術コレクションから98件の名品を精選した展覧会。俵屋宗達と本阿弥光悦のコラボレーション作品「鹿下絵和歌巻」は、後半の約9メートルが同館に所蔵されており、それを全面巻き替えなしで一挙公開した。また、京都・龍安寺の方丈を飾っていた襖絵で、福岡の炭鉱王・伊藤伝右衛門の手にも渡ったことのある「囲碁図」や、強烈な意匠性を見せる屏風「烏図」など金碧画の大作など、日本に残っていれば国宝・重文級の古美術の逸品が賑やかに展示された。

出品点数 98件

関連事業

▶ 記念講演会

「シアトル美術館 日本・東洋美術コレクションの魅力」

日時：平成22年5月23日(日) 午後2時～3時30分

講師：白原由起子氏(シアトル美術館ゲストキュレーター／根津美術館学芸課長)

会場：講堂

聴講者数：120人

※本講演会は「第2回福岡ミュージアムウィーク」の事業としても開催した。

「帰ってきた伊藤伝右衛門の襖絵―シアトル美術館の桃山絵画―」

日時：平成22年6月20日(日) 午後2時～3時30分

講師：渡邊雄二(福岡市美術館学芸課長)

会場：講堂

聴講者数：180人

主催等

主催：福岡市美術館／読売新聞西部本社／シアトル美術館／NHK福岡放送局
 後援：外務省／文化庁／アメリカ大使館／(財)福岡市文化芸術振興財団
 協賛：光村印刷
 協力：全日空／日本貨物航空／STARBUCKS COFFEE

観覧料

一般・・・1,000円(800円)
 高大生・・・800円(600円)
 小中生・・・500円(300円)

※()内は前売料金および20名以上の団体、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、シルバー手帳提示者の料金。

開催日数 50日

観覧者数 24,741人

印刷物

ポスター(B1、B2：3種、B3)
 チラシ2種(A4、A3二つ折り)
 図録(A4変形・238頁＋英文12頁)

関連記事

p.15を参照。



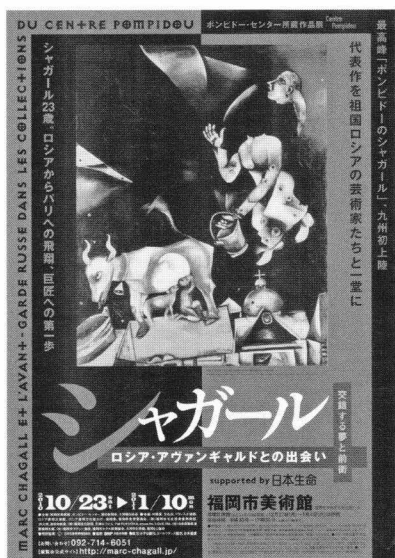
▲図録

シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い

交錯する夢と前衛

会期：平成22年10月23日(土)―平成23年1月10日(月・祝)

会場：特別展示室A



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

世界に名高いパリのポムピドー・センターのコレクションから、最高峰のシャガール作品を選びすぐって展示し、画家の人生を追うとともに、同時代に活躍したロシア前衛芸術の巨匠の作品も出品し、それらに対比させた展覧会。このことを通じ、マルク・シャガールにおける故郷ロシアの存在を再認識し、この画家の新たな魅力を提示することが試みられた。

出品点数 118点

関連事業

▶ 記念講演会

「シャガールとロシア・アヴァンギャルドとの対話—平行と対立」

日時：平成22年10月23日(土) 午後2時～4時
講師：アンゲラ・ランプ氏(ポムピドー・センター学芸員、本展監修)
会場：講堂
聴講者数：200人

「シャガールと音楽」

日時：平成22年11月13日(土) 午後2時～4時
講師：伊東信宏氏(大阪大学教授、音楽学)
会場：講堂
聴講者数：131人

主催等

主催：福岡市美術館／ポムピドー・センター／朝日新聞社／九州朝日放送
特別協賛：日本生命保険相互会社
協賛：DNP大日本印刷
協力：みずほ銀行／エールフランス航空／日本通運
後援：外務省／文化庁／フランス大使館／ロシア連邦大使館／ロシア連邦文化協力庁／福岡県／福岡県教育委員会／(財)福岡市文化芸術振興財団／JR九州／西日本鉄道／(財)福岡文化財団／天神エフエム／FM FUKUOKA／cross fm／LOVE FM／(社)日本自動車連盟福岡支部／(社)福岡市タクシー協会／福岡市ホテル旅館協会／九州日仏学館／福岡EU協会

観覧料

一般・・・1,300円(1,100円) ※()内は前売料金および20名以上の団体、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、シルバー手帳提示者の料金
高大生・・・1,000円(800円)
小中生・・・600円(400円)

開催日数 62日

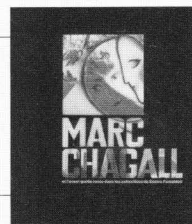
観覧者数 68,660人

印刷物

ポスター(B1、B2、B3)
チラシ(A3二つ折り)
図録(A4変形・197頁)

関連記事

p.16を参照。



▲図録

関連事業

▶コンサート

福岡ハイドン弦楽四重奏団 クリスマス・プロムナードコンサート

日時：平成22年12月19日(日) 午後2時～3時10分

会場：講堂

協力：福岡文化財団

参加者数：204人

▶映画上映会

ドキュメンタリー映画「シャガール：ロシアとロバとその他のものに」(2003年/フランス/52分/ビデオ作品)

監督：フランソワ・レヴィ・クエンツ

出演：マルク・シャガール、メレット・マイヤー・グラベル、ピエール・シュナイダー

上映日時：平成22年11月23日(火・祝)～28日(日) 午後1時30分～2時30分、3時30分～4時30分の2回

平成22年12月23日(木・祝)～26日(日) 午前11時～12時、午後2時～3時、午後5時～6時の3回

入場者数：	1回目	2回目	3回目
11月23日	78	33	
11月24日	55	10	
11月25日	47	25	
11月26日	20	25	
11月27日	40	41	
11月28日	46	48	
12月23日	13	45	33
12月24日	5	23	21
12月25日	16	46	36
12月26日	20	50	30

(単位は人)

第45回福岡市美術展

会期：平成23年2月22日(火)―3月6日(日)
 前期：平成23年2月22日(火)―2月27日(日) (洋画、彫刻、工芸)
 後期：平成23年3月1日(火)―3月6日(日) (日本画、書、写真、デザイン)
 会場：特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D



▲ポスターB2



▲ギャラリートーク

内容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で、1,136人(1,319点)の応募があり、内667人(669点)が入選。このうち、市長賞など入賞作品は64点であった。

展示点数 669点

関連事業

▶入賞・入選者発表

期 日：平成23年2月15日(火)
 場 所：1階ロビー

▶表彰式

期 日：平成23年2月27日(日)
 会 場：講堂
 各 賞：福岡市美術展特別賞1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議長賞2点、福岡市教育委員会賞・福岡県美術協会賞・福岡市美術連盟賞・福岡文化連盟賞・福岡市文化芸術振興財団賞各1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞2点、福岡市美術連盟奨励賞2点、奨励賞42点

▶ギャラリートーク

前 期：平成23年2月27日(日) 午後3時より
 後 期：平成23年3月6日(日) 午後3時より

主催等

主 催：福岡市／福岡市教育委員会／福岡市美術展運営委員会
 後 援：福岡県／(社)福岡県美術協会／福岡文化連盟／(財)福岡市文化芸術振興財団／西日本新聞社／福岡市美術連盟

観覧料

一般・・・400円 高大生・・・300円 中学生以下無料
 ※障がい者手帳所持者は無料

開催日数 12日

観覧者数 5,712人

印刷物

ポスター(B2:2種)
 開催要項(A3二つ折り)
 図録(A4変形・47頁)

関連記事

p.17を参照



▲図録

出品・入賞・入選状況

部門	出品合計(応募)		展示			
	人員(人)	点数(点)	入賞・入選 人員(人)	入賞・入選 点数(点)	招待 人員(人)	招待 点数(点)
日本画	30	34	30	30	5	35
洋画	289	350	176	177	6	183
彫刻	23	23	17	17	4	21
工芸	93	108	52	52	5	57
書	251	255	157	157	4	161
写真	340	436	182	182	6	188
デザイン	110	113	53	54	5	59
合計	1,136	1,319	667	669	35	704

※招待点数は審査員出品を含む。

常設展

■近現代美術

近現代美術室

世界・日本・九州の美術：20世紀から21世紀へ

会期：平成22年5月18日(火)―平成23年5月15日(日)

日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど、主に20世紀に登場したさまざまな美術動向を代表する国内外の作品約55点を、時代別、傾向別にわかりやすく展示。

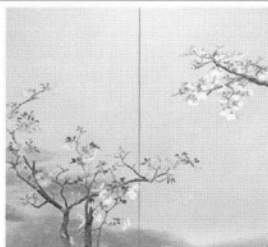
1. ラファエル・コランと近代日本の洋画
ラファエル・コラン、黒田清輝、岡田三郎助、吉田博など
2. 20世紀前半の新たな展開
モーリス・ユトリロ、ジョルジュ・ルオー、佐伯祐三、児島善三郎、三岸好太郎など
3. 20世紀後半、不安と絶望からの出発
ジョアン・ミロ、マルク・シャガール、ポール・デルヴォー、田部光子など
4. 存在と物質
アンディ・ウォーホル、イヴ・クライン、白髪一雄、菊畑茂久馬など
5. 現代の「絵画」
ジャン＝ミシェル・バスキア、シグマール・ボルケ、ジュリアン・オピエ、横尾忠則、やなぎみわなど

日本画工芸室

日本美術院の画家たち

会期：平成22年3月30日(火)―5月9日(日)

岡倉天心の指導のもと、新しい日本画を模索すべく1898(明治31)年に創設された日本美術院。本展では、横山大観《朧月》、富田溪仙《御室の桜》など美術院に集った画家たちの個性あふれる作品8点を紹介した。



富田溪仙《御室の桜》(部分)1933年▶

清塚紀子展

会期：平成22年5月18日(火)―7月19日(月・祝)

鉛箔にエッチングを施したり、電器部品を貼り付けるなどして、「版画」の概念を拡大させた作品を制作する清塚紀子(1940年生まれ)の作品19点を展示した。作品はすべて西本コレクションより。

清雅―画中の理想郷

会期：平成22年7月21日(水)―9月5日(日)

不老長寿の仙境や神話世界の楽園の伝説は、古来から人々を魅了し、芸術の題材となってきた。本展では、理想の風景を描いた洋画・日本画を特集し鈴木亜夫《牧神の午後》、富岡鉄斎《仙境図》など16点を展示した。

コレクションミックス

会期：平成22年9月7日(火)―10月31日(日)

ふだんは古美術と近現代美術という区分ごとに展示されている当館のコレクションを、テーマに基づき一室に展示する試み。「つれづれなぐさむもの」をテーマに、近現代美術から13点、古美術から5点の計18点を展示した。



吉田博《金魚すくい》1928年▲

「シャガール―ロシア・アヴァンギャルドとの出会い」展関連企画 時代で見る美術II―1910s

会期：平成22年11月2日(火)―12月26日(日)

所蔵品を年代で区切って見ることにより、時代と表現について考える特集展示の第2弾。1910年代を特集。カンディンスキー、山崎朝雲など、同時に展示されることがまれな作家の作品が、同時代であることを共通点として展示。同時期に開催中だった「シャガール―ロシアアヴァンギャルドとの出会い」展との時代的な関連もはかった。所蔵品27点、寄託品4点を展示。

田崎広助展

会期：平成23年1月5日(水)―3月27日(日)

八女郡出身で、文化勲章受章者でもある洋画家・田崎広助(1898-1984)の作品を展示した。風景に分け入り、画室の小さなものに注がれる彼のまなざしには、どこか暖かいユーモアが漂う。会期半ばで紙媒体の作品を3点ずつ入れ替え、計19点の作品を展示した。

小作品室

新収蔵作品展

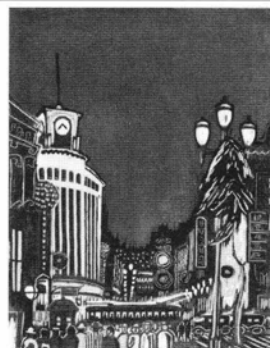
会期：平成22年3月30日(火)―5月9日(日)

平成21年度に福岡市美術館に御寄贈頂いた近現代美術作品12点を展示した。郷土の物故作家や全国的に活動する現代作家によって制作されたこれらの作品は、絵画から立体まで、素材も作風もさまざまである。幅広いコレクションの一端に触れて頂くことを目指した。

藤森静雄の版画

会期：平成22年5月18日(火)―7月19日(月・祝)

福岡県久留米市生まれの藤森静雄(1891-1943)は、大正期、東京美術学校在学中に恩地孝四郎・田中恭吉と詩と版画の同人誌『月映』を刊行し、版画の制作を始めた。以後、大正から昭和にかけて日本の創作版画界を担う中心的作家の一人として活躍。本展では、《大東京十二景の内・五月・夜の銀座(京橋区)》など、素朴な詩情を特色とする藤森静雄の版画作品32点を紹介した。



藤森静雄《大東京十二景の内 五月 夜の銀座(京橋区)》1933年

長谷川伝次郎の写真展

会期：平成22年7月21日(水)―9月5日(日)

写真家・旅行家の長谷川伝次郎(1894-1976)は、インドを中心にアジアを旅して数多くの写真を撮り、国内では奈良、京都の仏教美術の名品をカメラに収めた。彼の活動を示す貴重な作品群25点を展示。

藤野一友展

会期：平成22年9月7日(火)―10月31日(日)

藤野一友(1928-1980)は超現実主義的描法によりエロティックで幻想的な世界を追求した画家。本展では油彩画の代表作ほか、作品を生み出すまでの思考の跡が伺えるスケッチブックなどの資料も展示することで、その画業を振り返った。油彩27点(企画展示室)、水彩・素描29点(小作品室)を展示。

「シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い」展関連企画
アレクサンドル・ロトチェンコの写真展
会期：平成22年11月2日(火)—12月26日(日)

「シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い」展にちなみ、ロシア構成主義の作家、アレクサンドル・ロトチェンコ(1891-1956)の写真作品計30点を展示した。彼の作品では、空間をある角度から切り取るという写真の特性が最大限に生かされ、斬新な表現に結び付いている。



アレクサンドル・ロトチェンコ
《トランペットを吹くピオネール》1930年▶

シリーズ美術の技法Ⅲ 油彩画の修復
会期：平成23年1月5日(水)—3月27日(日)

美術品を文化財として後世に伝えるために欠かせない「修復」。所蔵品の油彩画、光安浩行《初夏》(1937年)の2009(平成21)年度の修復過程をパネル等で展示し、美術品保護に重要な役割を果たす「修復」について紹介。作品は5点を展示。

企画展示室

木下晋展(西本コレクション)

会期：平成22年3月30日(火)—5月9日(日)

鉛筆による迫真的な細密描法により、モデルの姿だけでなくその内面をも描き出しているかのような画風を特徴とする木下晋(1947年生まれ)の代表作17点を展示。作品はすべて西本コレクションより。

海をめぐるイメージ

会期：平成22年5月18日(火)—7月19日(月・祝)

季節や時間により多様な表情を見せる海は、画家たちの創作意欲を刺激し、想像力の源泉ともなってきた。本展では、稗田一穂《海の詩》、麻田鷹司《宗像杜沖島》といった日本画からロイ・リキテンシュタイン《雲のある海景》のような現代絵画まで、海を題材とした作品16点を所蔵品から特集展示した。

夏休み子ども美術館2010 子どもギャラリー
「ここはどこ?〜アートで行こう・ふしぎの旅〜」
会期：平成22年7月21日(水)—9月5日(日)

「旅」をテーマに、風景や景観をとらえた近現代の美術作品を合計15点展示した。それらの作品をたどる過程を架空の「旅」に見立て、来場者に親しみやすく、かつじっくりと鑑賞してもらえるように、リーフレットを作成、配布した。



吉田博《スフィンクス》1925年▲

藤野一友展

会期：平成22年9月7日(火)—10月31日(日)

小作品室を参照。

「シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い」展関連企画
シャガールの版画
会期：平成22年11月2日(火)—12月26日(日)

版画家としても多くの名作を生んだマルク・シャガール(1887-1986)。「シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い」展にちなみ、福岡市美術館が所蔵するこの画家の版画作品を67点展示。

■ 古美術

古美術企画展示室

田中丸コレクション—コーナー展示—

会期：平成22年3月30日(火)—12月26日(日)

九州の主要な窯を網羅した近世陶器で構成される田中丸コレクションから、代表的な作品約20点を展示。唐津、高取、上野、八代、薩摩、現川といったバラエティ豊かな九州古陶の世界を紹介。

新収蔵作品展

会期：平成22年3月30日(火)—5月9日(日)

ビルマ(現ミャンマー)で7~18世紀に制作された博伝や、福岡を代表する文化人・内本浩亮氏(1885-1977)旧蔵の茶道具など、平成21年(2009年)度に福岡市美術館へ寄贈された古美術作品79件を公開。



転法輪印仏陀坐像 ミャンマー 7-9世紀▶

シアトル美術館展関連企画 アジアの美

会期：平成22年5月15日(土)—7月11日(日)

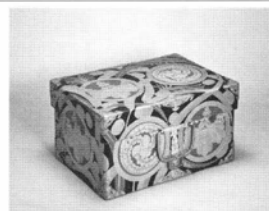
「シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展」の出品作品は、日本、中国、韓国、ベトナム、タイなどの美術からなるが、これらは当館の展示・収集活動と重なっている。両コレクションを対比することで、さらにシアトル展を楽しめるように所蔵品を松永記念館室(第1会場)に13点、古美術企画展示室(第2会場)に32点を展示した。

漆芸の極み—蒔絵

会期：平成22年7月13日(火)—9月12日(日)

蒔絵は、様々な器物に漆の下地を施し、金銀の粉などを蒔きつけて装飾する、わが国を代表する漆芸である。本展では、黒田家伝来の大名道具を中心に、当館に所蔵・寄託される蒔絵の名品27件を展示。

*藤巴桐紋薄文蒔絵扶箱 江戸時代▶



仙厓展「仙厓さんとおともだち」

会期：平成22年9月14日(火)—11月7日(日)

仙厓は聖福寺の禅僧であったが、江戸時代の博多のさまざまな人々と交遊があり、同じ僧ばかりではなく、学者や武士、商人、詩人、俳人、画家など多彩な顔ぶれであった。仙厓と交遊があった人々に関わる書画25点を展示した。



斎藤秋圃画・仙厓義梵賛 惠比寿図 江戸時代▲

太田コレクション展

会期：平成22年11月9日(火)―12月26日(日)

昭和52年に福岡市へ寄贈された太田コレクションは、太田清蔵氏(元東方生命会長)旧蔵の日本・東洋美術コレクションで、古美術から近現代美術まで多様な佳品で構成されている。本展では、伝・狩野元信「豊干・寒山拾得図」をはじめとする古美術の代表作16件を陳列した。



*伝・狩野元信 《豊干・寒山拾得図》(部分)▲
室町時代

松永記念館室

春の名品展

会期：平成22年3月30日(火)―5月9日(日)

春といえば、花ほころび、緑萌える季節。古来植物文様には、生命力や繁栄といった人々の願いが託されてきた。植物文様をまとった作品を中心に、松永コレクションの名品20点を展示。

シアトル美術館展関連企画 アジアの美

会期：平成22年5月15日(土)―7月11日(日)

古美術企画展示室を参照。

生誕135年記念 茶人・松永安左工門

会期：平成22年7月13日(火)―9月12日(日)

耳庵・松永安左工門は、1875(明治8)年12月1日に苅岐で産声を上げた。生誕135年を記念して、耳庵という人物に焦点をあて、耳庵自身の書や、自作の茶道具、茶についての限定版の著書のほか、遺愛の名品を20点展示。

秋の名品展

会期：平成22年9月14日(火)―11月7日(日)

秋の風趣に相応しい松永コレクションの名品を21件精選。同室内の茶室ケース「春草廬」では、松永耳庵翁が秋の茶会の定番としていた尾形乾山筆「花籠図(重文)」、柿蒂茶碗 銘「白雨」、沢庵宗彭作茶杓を展示し、耳庵翁の茶席を再現した。

金工品の美

会期：平成22年11月9日(火)―12月26日(日)

松永コレクションの中国、韓国、日本の古代から近世にわたる金属製の工芸品22点を展示。牛形匱(中国殷時代)、火舎香炉(藤原時代)、舍利塔(鎌倉時代)、芦屋霰地笹鹿図釜(桃山時代)など。



牛形匱 殷時代後期▲

新春名品展

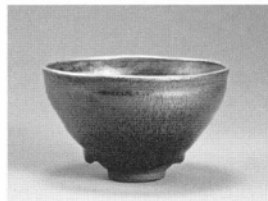
会期：平成23年1月5日(水)―2月6日(日)

松永耳庵翁が正月の茶席で重用していた伝・本阿弥光悦書、尾形光琳筆の「金銀泥梅花図」と古雲鶴筒茶碗をはじめ、新春にふさわしい茶道具を18点展示した。

器の景色

会期：平成23年2月8日(火)―3月27日(日)

やきものの素地やその表面を覆う釉薬は、焼成時に様々な化学変化を起こし、多様な装飾効果をもたらす。日本人は、その予測不能な装飾の妙を「景色」と呼んで愛でてきた。素地と釉薬が作り出す神秘の世界を、松永コレクションを中心とする21件の陶磁器により展覧した。



*建盞天目茶碗(建盞) 南宋時代▲

東光院仏教美術室

薬王密寺東光院(博多区吉塚)より寄贈された重要文化財25点を含む仏像を常時展示。薬師如来立像、十二神将立像(平安時代後期・南北朝時代)など。

東光院の仏画―涅槃図ほか(コーナー展示)

会期：平成23年2月8日(火)―3月27日(日)

涅槃会の時節にちなみ、仏涅槃図をはじめとする東光院伝来の仏画をコーナー展示。

観覧料：一般200円(150円)、高大生150円(100円)、小中生以下無料。ただし、福岡市発行のシルバー手帳および北九州市発行の年長者施設利用証・療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者は無料。また、65歳以上の鹿児島市民および熊本市民は証明書提示で無料。()内は20人以上の団体料金。

観覧者数：p.51を参照。

関連記事：p.18を参照。

藍染の美—筒描

会期：平成23年1月5日(水)—3月27日(日)
会場：古美術企画展示室



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

日本の模様染めに、筒状の袋に入った糊を手で絞り出しながら布面に置いて防染する「筒描(つつがき)」という技法がある。筒描技法は、婚礼や出産、祭礼といった晴れの機会に発注される、木綿地や麻地を用いた布団、夜着、風呂敷、暖簾、法被などを彩ってきた。本展では、江戸時代から戦前にかけて日本各地で制作された筒描の名品および、九州で使用されたことが確実に知られる筒描作品を展示し、文献における筒描作品をたどり、歴史的な位置付けを試みた。

会期を3期にわけ、各期で作品をすべて入れ替え展示。

- 第Ⅰ期：1月5日(水)—1月30日(日) 慶びのときⅠ
- 第Ⅱ期：2月1日(火)—2月27日(日) 慶びのときⅡ・佐賀県の筒描
- 第Ⅲ期：3月1日(火)—3月27日(日) 暮らしと祭礼

出品点数 72点

関連事業

▶ギャラリー・トーク

- 期 日：平成23年1月15日(土)
講 師：遠谷茂氏(筒描研究家)
参加者数：40人
- 期 日：平成23年2月5日(土)
講 師：宮原俊恵氏(染織収集家)
参加者数：73人
- 期 日：平成23年3月5日(土)
講 師：岩永悦子(福岡市美術館学芸員)
参加者数：51人

※いずれも会場は古美術企画展示室(本展会場)

主催等

主 催：福岡市美術館

観覧料

常設展示観覧料(P.12参照)

開催日数 71日

観覧者数

17,834人(期間中の常設展示観覧者数)

印刷物

- ポスター(B2)
- チラシ(A4)
- 案内状(はがきサイズ)
- 図録(A4変形・143頁)



▲図録

関連記事

p.18を参照

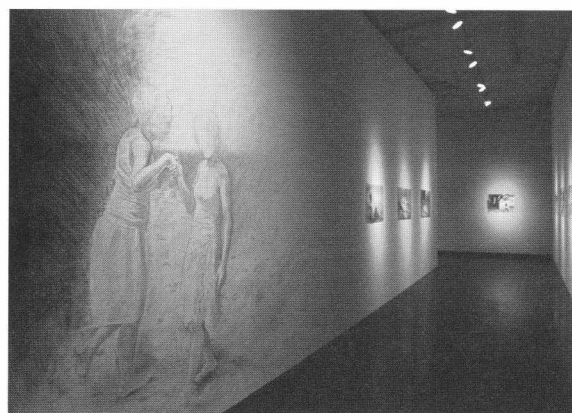
第9回21世紀の作家—福岡 大浦こころ展 やわらかな圧力

会期：平成23年1月5日(水)—3月27日(日)

会場：企画展示室



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

「21世紀の作家—福岡」シリーズの9回目は福岡市在住の美術家・大浦こころ(1960-)をとりあげた。東京都に生まれた大浦は1980年代に活動をスタートさせ、1990年頃より福岡を拠点とし、現在も活動を続けている。新作展となった本展では、年末年始の5日間に展示室にて制作されたモノクロームの壁画のほか、みずみずしい色彩と大胆な筆致による水彩画の大作8点、そして初めて取り組んだという木炭デッサンが展示された。

出品点数 17点

関連事業

▶ひとりずつギャラリートーク

日時：平成23年1月23日(日)、3月12日(土)
いずれも午前10時～12時と午後2時～4時の2回
トーク：大浦こころ氏(美術家)
会場：企画展示室(本展会場)
参加者数：1月23日 18人、3月12日 22人

▶アーティストトーク

日時：平成23年2月13日(日) 午後2時より
会場：教養講座室
参加者数：38人

主催等

主催：福岡市美術館
助成：財団法人福岡文化財団

観覧料

常設展示観覧料(P.12参照)

開催日数 71日

観覧者数

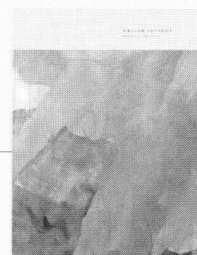
17,834人(期間中の常設展示観覧者数)

印刷物

ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4変形・48頁)

関連記事

p.18を参照



▲図録

展覧会関連記事

■特別企画展等

シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展

読売新聞(朝刊)	H22.2.22	日本美術の至宝 里帰り/シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展
読売新聞(朝刊)	H22.3.29	シアトル美術館展 5月23日開幕/豪華 伝右衛門の襖絵/九州の文化にゆかり深く/福岡市美術館 渡邊雄二学芸課長
読売新聞(朝刊)	H22.4.8	海を渡った至宝!里帰り/シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展
読売新聞(朝刊)	H22.4.26	どれどれどーれ/来月23日 シアトル美術館展開幕/宗達×光悦 究極コラボ/躍動の鹿下絵和歌巻/福岡市美術館 後藤恒学芸員
読売新聞(朝刊)	H22.5.23	招待客らを魅了/シアトル美術館展
読売新聞(朝刊)	H22.5.23	シアトル美術館展開幕
読売新聞(朝刊)	H22.5.31	どれどれどーれ/華麗の光琳 寂寥の蕪村/シアトル美術館展にぎわう 福岡市美術館/伝右衛門の孫・伝一さん 吉田市長も来場
読売新聞(夕刊)	H22.6.10	Information/福岡市美術館/海を渡った、幻の名品、里帰り大公開!
読売新聞(朝刊)	H22.6.12	シアトル美術館展 20日に記念講演会
読売新聞(朝刊)	H22.6.14	米蔵のアジア美術品公開
読売新聞(朝刊)	H22.6.15	シアトル美術館展①/「五美人図」葛飾北斎筆 文化年間(1804～18年)頃/(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	H22.6.17	シアトル美術館展②/「地獄草紙断簡」(咩声地獄) 平安時代末～鎌倉時代初期(1200年頃)/(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	H22.6.18	シアトル美術館展③/「浦島時絵手箱」 鎌倉時代 14世紀/(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	H22.6.19	シアトル美術館展1万人突破
読売新聞(朝刊)	H22.6.22	シアトル美術館展④/北野天神縁起絵巻断簡「船出配流」 鎌倉時代 弘安元年(1278年)/(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
朝日新聞(朝刊)	H22.6.24	イイかも!/シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展 琳派の巻物9メートルを一挙/(西正之)
読売新聞(朝刊)	H22.6.27	シアトル美術館展⑤/「烏図」 江戸時代 17世紀前半/(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	H22.6.28	どれどれどーれ/「浦島伝説」の手箱/シアトル美術館展/福岡市美術館
読売新聞(夕刊)	H22.7.6	文化west /宗達と光悦 華麗な共作/シアトル美術館所蔵展 福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H22.7.16	シアトル美術館展 連日大勢の入場者 福岡・19日まで
STATUS design 16(2010年4月26日発行)		STATUSdesign NEWS /美しきアジアの玉手箱/日本・東洋の宝物、98件が、シアトル美術館より里帰り。
福岡モン No.31(2010年4月28日発行)		EVENT&ART PRESS /日本・東洋の宝物 約100点がああシアトル美術館より里帰り!! /美しきアジアの玉手箱 シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展
北九州 おい街 No.387(2010年4月28日発行)		EVENT&ART PRESS /日本・東洋の宝物約100点がああシアトル美術館より里帰り!! /美しきアジアの玉手箱 シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展
福岡Walker 2010年6月号(2010年5月20日発行)		福岡市全域MAP /ちょっと遠くへでかけよう/今月のPick up News!! /イベント/ 5/23(日)～ 7/19(祝)「シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展 美しきアジアの玉手箱」
Off Time vol.5(2010年5月25日発行)		今月のエンタメ&イベント情報/ Art /「シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展～美しきアジアの玉手箱～」
月刊ながさきPRESS vol.312		EVENT&ART Information /美しきアジアの玉手箱 シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展/福岡市美術館 / 5/23(日)～ 7/19(祝)/ただいま、ニッポン。
ザ・ながさきNo.663(2010年5月28日発行)		ART /美しきアジアの玉手箱 シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展/福岡市美術館 開催中～7/19(月・祝) /東洋美術コレクションの逸品98点を紹介
博多のうわさ6月号(2010年6月1日発行)		世界中の美術品を網羅するアメリカ屈指の美術館/「シアトル美術館日本・東洋美術名品」開催中
月刊はかた Vol.259 2010年6月号		ギャラリー情報/美しきアジアの玉手箱 シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展
うふふ福岡 2010年6月号		イベントニュース/シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展～美しきアジアの玉手箱～/シアトル美術館の名作が日本へ里帰り
アヴァンティ福岡 2010年7月号(2010年6月20日発行)		アート/まるで玉手箱から次々と取り出された宝物のような珠玉の逸品。シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展 美しきアジアの玉手箱
うふふ福岡 2010年7月号		イベントニュース/シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展～美しきアジアの玉手箱～/海を渡った幻の名品が福岡で初公開!
美連協ニュース No.108 2010年11月号 p.24		寄稿エッセイ/謎のガラスが飛び去った後で/シアトル美術館所蔵 美しきアジアの玉手箱 福岡市美術館 2010年5月23日～7月19日/ジミ・ヘンのロックのように強烈、いつまでも心に響く/渡邊雄二 福岡市美術館 学芸課長

シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い

日本経済新聞(朝刊)	H22.7.21	時代との接点浮き彫りに「シャガール展」／(編集委員 宝玉正彦)
朝日新聞(夕刊)	H22.7.21	be evening /水曜アート/「ロシアとロバとその他のものに」マルク・シャガール/首が宙に浮いたわけ/美の履歴書164
朝日新聞(朝刊)	H22.9.11	シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い/孤高の画家 願った競演/故郷ロシアの仲間とともに/シャガール作品充実 ポンビドー・センター
朝日新聞(朝刊)	H22.9.23	朝日新聞社のお知らせ/シャガール展 記念講演会
朝日新聞(夕刊)	H22.10.6	シャガールと私/歌舞伎俳優 市川団十郎さん/空気の濃淡で動き見せる
朝日新聞(朝刊)	H22.10.8	シャガールと私/歌手 平原綾香さん/見る者の思い引き出す
朝日新聞(朝刊)	H22.10.11	シャガールと私/落語家 立川志らくさん/理屈じゃなく想像世界へ
朝日新聞(朝刊)	H22.10.14	シャガールと私/銅版画家 山本容子さん/世界中を旅し魂を動かす
朝日新聞(朝刊)	H22.10.15	シャガールと私/シェフ・「ひらまつ」社長 平松宏之さん/素直に表現、人生が見える
朝日新聞(朝刊)	H22.10.19	シャガールと私/建築家 坂 茂さん/理解超え訴える色彩構成
朝日新聞(朝刊)	H22.10.20	シャガールと私/生物学者 福岡伸一さん/存在の不確実感にたゆたう
朝日新聞(朝刊)	H22.10.20	シャガール展準備進む
朝日新聞(朝刊)	H22.10.22	シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い/「魔笛」色彩の妙/モーツァルトの集大成と融合
朝日新聞(夕刊)	H22.10.23	シャガール展おまたせ
朝日新聞(朝刊)	H22.10.24	シャガール展始まる/福岡市美術館
朝日新聞(朝刊)	H22.11.4	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「ロシアとロバとその他のものに」(1911年)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.6	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「彼女を巡って」(1945年)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.7	シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い/そこは美の異空間/内にある現実/「魔笛」の部屋/晩年の大作/ゴンチャロフの世界/名品勢ぞろい
朝日新聞(朝刊)	H22.11.9	故郷ロシアへ思いはせ/シャガール展 福岡市美術館
朝日新聞(朝刊)	H22.11.10	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「日曜日」(1952～54年)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.11	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「死者」(1908年)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.11	朝日新聞社のお知らせ/シャガール展 記念コンサート
朝日新聞(朝刊)	H22.11.13	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「収穫」(1910年以降)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.17	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/ゴンチャロフ「収穫物を運ぶ女たち」(1911年)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.18	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「緑色の恋人たち」(1916～17年)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.19	シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い/二つの故郷 結ぶ旅/出生地ビテブスク/没後25年進む復権/芸術家として開花 パリ/孫のメイエルさんに聞く イメージの源だった地
朝日新聞(朝刊)	H22.11.20	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/カンディンスキー「アフティルカ 赤い教会の風景」(1917年)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.27	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/立体派の風景(1918～19年)
朝日新聞(朝刊)	H22.11.28	シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い/絵の中に入っていききたい/川上未映子さん シャガールを語る
西日本新聞(朝刊)	H22.11.30	文化短信/「シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い—交錯する夢と前衛」展
朝日新聞(朝刊)	H22.12.1	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/ブーニー「コンポジション」(1915～16年)
朝日新聞(朝刊)	H22.12.7	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「虹」(1967年)
朝日新聞(朝刊)	H22.12.8	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「シリーズ モーツァルト『魔笛』から「パパゲーノ」(1966～67年)
朝日新聞(朝刊)	H22.12.9	シャガール展で胸に刻む命の尊さ/ハローワーク相談員 遠藤 博明(長崎県川棚市 59)
朝日新聞(朝刊)	H22.12.12	シャガール展/福岡市美術館 2011年1月10日まで/「イカルスの墜落」(1974～77年)
朝日新聞(朝刊)	H23.1.6	シャガール展5万人/福岡市美術館、10日まで
西日本くらしの情報誌[Artに親しむ]		九州のミュージアムへ行こう!/『シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い—交錯する夢と前衛』福岡市美術館/最高峰、「ポンビドーのシャガール」九州初上陸 同時代のロシア前衛芸術を日本初公開!
福岡EU協会会報「Twelve Stars」vol.33(2010年9月30日発行)		福岡でEU Twelve Stars of Art & Culture/Art/シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い—交錯する夢と前衛～
BAILA パイラ 2010年9月号		こちらArt探偵社! vol.28 今月はマルク・シャガール/この人たち、なんで飛んでるんですか?/幸せすぎて飛んじやってますけど、真相は謎のまま
月刊みれにあむ大牟田10月号(2010年10月1日発行)		最高峰『ポンビドーのシャガール』九州初上陸/ポンビドー・センター所蔵作品シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い—交錯する夢と前衛～展
月刊ぶらざ TOBU NO.81(2010年10月1日発行)		ぶらざ見聞 東奔西走/「シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い—交錯する夢と前衛～」

BRILLIANT 2010. AUTUMN VOL.2	BRILLIANT EVENT シャガール展特別講演会(展覧会開設)/何がシャガールをシャガールにしたのか。ロシアとの関係という視点でシャガールを捉えなおす。
ザ・ながさき No.673 (2010年10月15日発行)	ART /シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～/シャガールの新たな魅力を発見!
an weekly No.40 (2010年10月18日発行)	フクオカan ニュース!/名作で感性のツボを刺激して『じぶんリフレッシュ』/ふくおか美術館 & 博物館巡り/ロマンティック全開の「シャガール」展に行こう!
アヴァンティ福岡 2010年11月号 (2010年10月20日発行)	avanti culuture /アート/青のセカイに包まれて。 シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～
子づれDE CHA・CHA・CHA 11&12 2010 vol.139	ファミリー DE 楽しめる福岡 & 九州のおでかけ情報/～ 23.1.10(月・祝) シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～
福岡モン No.37 2010年11月号 (2010年10月28日発行)	EVENT&ART /世界最高峰の「ポンピドーのシャガール」いよいよ九州上陸!/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～
おい街 No.393 2010年11月号 (2010年10月28日発行)	EVENT&ART PRESS /世界最高峰の「ポンピドーのシャガール」いよいよ九州上陸!/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～
博多のうわさ 2010年11月号 グラフSGI	お客様横町/「シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い 芸術の秋一名画・名作にふれよう/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～
Fun Fan フコク情報ステーション ファンファン 2010年11月号	福岡/福岡市美術館/交錯する夢と前衛 シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い/九州初公開。世界最高峰のポンピドー・センターコレクション
月刊タウン情報クマモト 2010年11月号	イベント情報/福岡アート/「ポンピドーのシャガール」が九州初上陸!/シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い
Off Time vol.11 2010年11月号	知っておきたい今月のアート情報/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～
アクロス福岡情報誌 ACROS 2010年11月号	CULTURE アクロス・文化であい塾「シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い」展をもっと楽しく/シャガールが夢見た展覧会 その見所や魅力を伝えます
PHPスペシャル(2010年11月10日発行)	ART /幻想的に描かれた画家の愛する故郷/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～/文: 蘆田裕史
月刊スキップ 2010年12月号	SKIP 情報ラインナップ/ポンピドー・センターの「シャガール」が九州初上陸!色彩豊かな作品を祖国の芸術家達と一堂に集結!
福岡ウォーカー 2010年12月号 (2010年11月20日発行)	1分間で分かる美の巨匠たち/マルク・シャガール[1887-1985]
博多のうわさ 2010年12月号	お客様横町/「シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い好評開催中」
にしてつニュース No.619 2010年12月号	おでかけカレンダー/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～/開催中～ 1月10日(祝) 福岡市・福岡市美術館
SKYMARK 2010年12月号	EVENT / SKYMARK 就航地ニュース/ FUKUOKA /シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～
月刊はかたVol.265 (2010年12月1日発行)	ギャラリー情報/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～/開催中～11年1月10日(月・祝)
日経interesseNo.176 2010年12月号	EVENT イベントインフォメーション/～交錯する夢と前衛～シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い
月刊みれにあむ大牟田12月号	冬の散歩道 美術館に出かけよう/ポンピドー・センター所蔵作品展 最高峰「ポンピドーのシャガール」、九州初上陸/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～/会期/～ 2011年1月10日(月・祝)まで
HOT PEPPER 福岡 2010年12月号	観るものを独特な世界に惹きこむ、名画を堪能して/シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い～交錯する夢と前衛～/開催中～ 2011年1月10日(月祝)/福岡市美術館
FUKUOKA NOW November 2010 #143 (2010年11月26日発行)	Event Calendar November 2010 / JAN ~ 10 / Chagall and the Russian Avant-garde /シャガールーロシア・アヴァンギャルドとの出会い

第45回福岡市美術展

西日本新聞(朝刊)	H23.2.16	福岡市美術展/横山さん(宇美町)最高賞/入賞、入選667人22日から展示
西日本新聞(朝刊)	H23.2.17	福岡市美術展入賞者
西日本新聞(朝刊)	H23.2.18	福岡市美術展入賞者(上)
西日本新聞(朝刊)	H23.2.19	福岡市美術展入賞者(下)
毎日新聞(朝刊)	H23.2.20	市美術展の入賞・入選者発表/最高賞に横山さん

■ 常設展

木下晋展

西日本新聞(朝刊) H22.4.4 ミュージアムめぐり87 学芸員のいちおし/福岡市美術館/木下晋展/鉛線に凝縮する人生/(山口洋三・福岡市美術館学芸員)

藤森静雄の版画

西日本新聞(朝刊) H22.5.30 ミュージアムめぐり94 学芸員のいちおし/福岡市美術館/藤森静雄の版画/素朴な詩情 鋭敏に/(山本香瑞子・福岡市美術館学芸員)

生誕135年記念 茶人・松永安左工門

茶道雑誌 第74巻 第7号 pp.21-29 福岡市美術館 松永記念館室 誕135年記念 茶人・松永耳庵/構成・解説 岩永悦子
(2010年7月1日発行 河原書店)

書道界 通巻249号 p.32 福岡市美術館 「生誕135年 茶人・松永安左工門」
(2010年8月15日発行 藤樹社)

夏休み子ども美術館2010 子どもギャラリー「ここはどこ?~アートで行こう・ふしぎの旅~」

毎日新聞(朝刊) H22.8.15 館長室や警備室見学/福岡市立美術館 小学生対象探検ツアー/川名壮志
福岡市政だよりNo.1437(2010年8月1日発行) 夏休みおでかけ情報/福岡市美術館/夏休み子ども美術館2010
うふふ福岡8月号(2010年7月25日発行) ART/夏休み子ども美術館2010子どもギャラリー「ここはどこ?~アートで行こう・ふしぎの旅~」

■ 常設企画展

藍染の美一筒描

佐賀新聞(朝刊) H23.2.11 「筒描」の美華麗に70点/来月27日まで、福岡市美術館
Messa-ju No.166 2011年2月号 EVENT/藍染の美一筒描
(2011年1月25日発行)
月刊ながさきPRESS No.321 2011年2月号 EVENT & ART Information/藍染の美一筒描/日本人に受け継がれてきた庶民が描く伝統的な「美」
月刊はかた 2011年2月号(2011年2月1日発行) ギャラリー情報/常設企画展 藍染の美一筒描
ザ・ながさき(2011年2月4日発行) ART/藍染の美一筒描/江戸時代から戦前にかけて制作された名品
おい街 No.396(2010年2月28日発行) 藍の美しさを最大限に引き出す「筒描」の名品を一挙に紹介!/藍染の美一筒描/開催中~3月27日(日)
芸術新潮 2011年3月号 p.129 Stardust/出雲の国では孫にも意匠/「藍染の美一筒描」より
(2011年3月25日発行)
HALI ISSUE 167 SPRING 2011 CONTEXT EXHIBITIONS/TSUTSUGAKI/ETSUKO IWANAGA/Introduced here by its curator, a recent exhibition of
pp.132-135 (2011年3月発行) tsutsugaki paste-resist-dyed folk textiles at the Fukuoka Art Museum confirmed the institution's commitment to the
display and publication of the textile arts, both Japanese and foreign.

第9回21世紀の作家一福岡 大浦こころ展

毎日新聞(朝刊) H23.1.10 一福岡市美術館で大浦こころ展一/優しく柔らかな人間関係
日本経済新聞(夕刊) H23.1.20 アプローチ九州/大浦こころ展「やわらかな圧力」の可能性/(川浪千鶴)
読売新聞(夕刊) H23.2.15 美術散策/大浦こころ展「やわらかな圧力」/捉えられぬ光へ魂刻む/(美術家・元村正信)

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術のより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークをはじめ、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

市内の小・中学校等に対するギャラリートัวร์（スクールツアー・プログラム）

平成22年

4月21日(水)	福岡インターナショナルスクール 4、5年生	児童22人	引率3人
4月21日(水)	壱岐丘中学校2年生(*)	生徒82人	引率5人
6月2日(水)	玄界中学校2年生(*)	生徒4人	引率3人
6月4日(金)	姪浜中学校1年生(*)	生徒348人	引率17人
6月9日(水)	香椎第一中学校2年生(*)	生徒242人	引率12人
6月24日(木)	友泉中学校1年生(*)	生徒283人	引率7人
7月2日(金)	柏原中学校2年生(*)	生徒173人	引率8人
7月9日(金)	西福岡中学校1年生(*)	生徒150人	引率5人
7月22日(木)	三宅中学校美術部	生徒22人	引率2人
7月24日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会 (教員のための鑑賞指導研修)	教員11人	
8月18日(水)	福岡東部こども劇場小学1年~中学2年	児童22人	一般大学生6人
9月9日(木)	東住吉中学校1年生	生徒71人	引率5人
10月14日(木)	北崎中学校1、2年生(*)	生徒42人	引率8人
10月15日(金)	多々良中央中学校1年生(*)	生徒183人	引率9人
10月21日(木)	草ヶ江小学校5年生(*)	児童140人	引率6人
10月22日(金)	草ヶ江小学校6年生(*)	児童124人	引率6人
10月26日(火)	草ヶ江小学校3年生(*)	児童127人	引率4人
10月27日(水)	草ヶ江小学校4年生(*)	児童102人	引率3人
10月29日(金)	当仁小学校4年生	児童85人	引率5人
11月19日(金)	福岡雙葉小学校5年生	児童114人	引率6人
11月26日(金)	舞鶴中学校2年生	生徒69人	引率6人
11月26日(金)	香椎第二中学校2、3年生	生徒7人	引率1人
12月8日(水)	香椎小学校6年生	児童106人	引率4人
12月8日(水)	小田部小学校5年生	児童119人	引率4人
12月16日(水)	松崎中学校1年生(*)	生徒146人	引率10人
12月22日(水)	東吉塚小学校5年生	児童81人	引率4人

平成23年

1月14日(金)	城南小学校5年生	児童134人	引率4人
1月18日(火)	南当仁小学校1年生	児童106人	引率5人
1月19日(水)	城南中学校2年生(*)	生徒296人	引率13人
1月28日(金)	宮竹小学校5年生	児童145人	引率6人
2月2日(水)	横手中学校特別支援学級1~3年生	生徒8人	引率3人
2月3日(木)	千早小学校5年生	児童82人	引率3人
2月3日(木)	城香中学校1年生(*)	生徒82人	引率8人
2月4日(金)	那珂南小学校5年生	児童88人	引率4人
2月11日(金)	友泉中学校美術部1、2年生	生徒19人	引率1人
2月15日(火)	東花畑小学校5年生	児童77人	引率2人
2月16日(水)	西長住小学校5年生	児童62人	引率4人
2月16日(水)	長住小学校5年生	児童81人	引率4人
2月17日(木)	七隈小学校5年生	児童87人	引率4人
2月18日(金)	松島小学校特別支援学級1~6年生	児童10人	引率2人
2月18日(金)	日佐中学校2年生(*)	生徒133人	引率8人
2月22日(火)	周船寺小学校5年生	児童66人	引率3人
2月23日(水)	周船寺小学校5年生	児童65人	引率3人
2月24日(木)	香住丘小学校5年生	児童142人	引率5人
2月24日(木)	玄界小学校6年生、 中学校3年生	児童/生徒5人	引率2人
2月25日(金)	愛宕小学校6年生	児童142人	引率5人
2月25日(金)	有田小学校5年生(*)	児童98人	引率3人
2月25日(金)	筑紫丘中学校2年生(*)	生徒151人	引率7人
3月23日(水)	南当仁小学校2年生、5年生	児童155人	引率6人

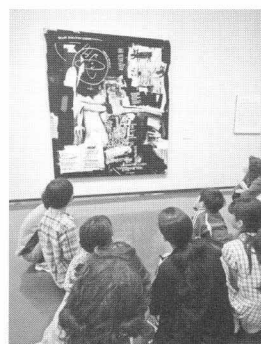
(*)は体験学習による来館校

福岡市立南当仁小学校の図画工作科授業研究への協力

福岡市立南当仁小学校は、平成22年度国立教育政策研究所教育課程研究センターの指定を受け、図画工作科の授業研究と研究発表会を行った。当館では、平成22年10月8日に開催された発表会に向けて、事前の打合せから授業案作成と実施に対する協力までを行った。

発表会開催日：平成22年10月8日(金)

授業：「本物をみていこう！美術館にLet's Go!」(2年1組、5年1組)
「尾形乾山『花籠図』を味わう」(6年3組)



中学校交流ワークショップ2010「つなごう」

当館では中学生の美術館利用や美術鑑賞を推し進めるため、2001年より福岡市の中学校美術部有志と共同してワークショップを実施している。今年度は、美術館の作品等から着想を得たスタンプや団扇のデザインを中学生が作り、美術館とNHK福岡放送局を会場にスタンプラリーを実施した。



日 時：平成22年7月24日(土)、25日(日)
参 加 校：内浜中学校、香椎第一中学校、筑紫ヶ丘中学校、当仁中学校、原中学校、東住吉中学校、舞鶴中学校、和白丘中学校 (50音順、いずれも福岡市立)
参加生徒数：24日 48人、25日 51人
会 場：福岡市美術館、NHK福岡放送局
主 催：福岡市中学校美術教育研究会、福岡市美術館
協 力：NHK福岡放送局

夏休み子ども美術館2010

子どもたちに当館の所蔵品に親しみ、美術に接してもらうため、展示やギャラリートーク等を組み合わせた複合的な教育普及プログラムとして本事業を実施している。平成22年度は「旅」をテーマにした企画を行った。

子どもギャラリー「ここはどこ?～アートで行こう・ふしぎの旅～」

「旅」をテーマに、風景や景観をとらえた近現代の美術作品を合計15点展示した。それらの作品をたどる過程を架空の「旅」に見立て、来場者に親しみやすく、かつじっくりと鑑賞してもらえるように、リーフレットを作成、配布した。



会 期：平成22年7月21日(水)～9月5日(日)
会 場：企画展示室
観 覧 料：常設展示観覧料(p.12参照)

子どもワークショップ「旅を旅する、絵画教室」

子どもと保護者がペアで参加するワークショップ。保護者が大濠公園へ「旅」に出、行く先で見た風景やいろいろなものを携帯電話で伝え、それを受け取った子どもたちは、説明の言葉を頼りに風景を描いた。



日 時：平成22年8月8日(日)、22日(日)
会 場：実技講座室
講 師：鈴木 淳氏 (美術家)
対 象：小学3年生～中学生とその保護者(各日10組20名)
参 加 費：1組500円
参加者数：両日合わせて17組34人
協 力：株式会社ウィルコム

美術館探検

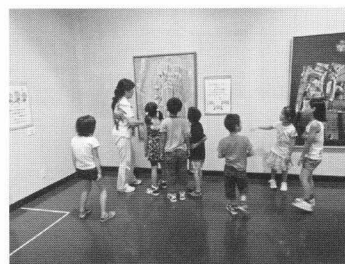
普段来館者が入ることのできない美術館のバックヤードを、学生アシスタントの案内によって、子どもたちが探検した。作品が展示室に飾られる前後にどのように管理されているのか、どのような人々が働いているのかを知ってもらい、その後、アシスタントとともに子どもギャラリーで作品鑑賞を行った。



日 時：平成22年8月11日(水)、14日(土)、18日(水)、21日(土)、25日(水)の午前10時と午後1時の2回(各回1時間)
対 象：小学生・各回15人
参 加 費：無料。保護者は常設展示観覧料が必要。
参加者数：子ども153人、保護者99人
学アシスタント：大学生27名

ギャラリーツアーforキッズ！夏休み特別版

当館ギャラリーガイドボランティアによる、こども向けのギャラリートーク。ボランティアが常設展示の作品を3点選び、こどもと対話をしながら、わかりやすく作品を紹介した。なお、大人の参加も可とした。



日 時：平成22年7月21日(水)～9月5日(日)
休館日を除く毎日午後2時30分から40分程度。

参加費：中学生以下は無料。保護者は常設展示観覧料が必要。

参加者数：こども163人 大人110人

夏休みこどもとしゃかん「よんで、みて、旅しよう！本の中の世界」

期 間：平成22年7月21日(水)～9月5日(日)

会 場：読書室

内容はp.24を参照。

印刷物 チラシ(A4)、リーフレット(1/4B2・8つ折り)、マグネット3種

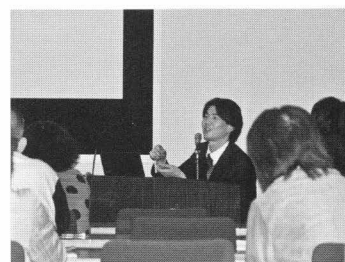
関連記事 p.18を参照。

講座

いまさらきけない!? アートのキ・ホ・ンvol.1

「ビエンナーレって、なんね？」

ちまたに飛び交う、アートをめぐる言葉の数々。「よく聞くんだけれど、どういう意味？」と思うようなアートのキーワードを一つ取り上げ、それをめぐって専門家の講師に基礎から話していただくセミナー。今回は2011年がヴェネツィア・ビエンナーレの年であることにちなんで「ビエンナーレ」をキーワードとし、山口大学人文学部准教授・藤川哲氏に2回にわたる講演をいただいた。



<2回連続講座>

第1回 「ヴェネツィア・ビエンナーレの歴史と日本の参加」

日 時：平成23年2月26日(土) 午後2時～3時30分

第2回 「世界のビエンナーレとトリエンナーレ」

日 時：平成22年3月5日(土) 午後2時～3時30分

講 師：藤川 哲氏(山口大学人文学部准教授)

会 場：教養講座室

定 員：50人

参加者数：第1回 35人、第2回 31人

つくって!わかる?アート講座vol.5

「布に模様をえがく：藍染型抜染」

本講座は、実技を通して、美術の表現や技法に対する理解を深めることを目的としている。本年は染色作家の藤本祥子氏を講師に招き、参加者が自ら意匠を考えて型を彫り、抜染の技法を用いて藍染の風呂敷を制作した。導入部では参加者が作品鑑賞と作品制作の経験が結びつけられるように、岩永学芸員による「藍染の美一箇描」展のギャラリートークを行った。



日 時：平成23年3月19日(土) 午前11時～午後5時、3月20日(日) 午前10時～午後5時

講 師：藤本祥子氏(染色家・九州産業大学非常勤講師)

参加費：1,000円

定 員：15歳以上15人

参加者数：14人

開館記念事業

図録フェア

平成 21 年度までに福岡市美術館で開催された展覧会図録で在庫のあるものを、定価の 2～3 割引で販売した。

日 時：平成 22 年 11 月 3 日(水・祝)
会 場：2 階ロビー

第2回福岡ミュージアムウィーク

福岡市では、市民の方々に福岡やアジアの歴史、伝統、芸術、文化により広く、深く、興味を持っていただくとともに、多くの方々に美術館、博物館の役割を広く知ってもらうために制定された「国際博物館の日」(5 月 18 日)の趣旨に賛同し、美術館、アジア美術館、博物館の 3 館が連携し、様々な事業を企画・実施したものである。

期 間：平成 22 年 5 月 15 日(土)～5 月 23 日(日)

常設展観覧料無料

観覧者数：2,295 人(期間中)

スタンプラリー

3 館を巡りスタンプを集めて応募された方の中から抽選で特別展観覧券などの賞品を贈呈した。

応募者数：97 枚

講演会「シアトル美術館 日本・東洋美術コレクションの魅力」

内容は P.6 を参照。

講演会「社会の窓から見たニッポン」

ファインダーを通して見るニッポン社会を、写真を交えながら講演していただいた。

日 時：平成 22 年 5 月 29 日(土) 午後 2 時～4 時
講 師：都築響一氏(編集者・写真家)
会 場：講堂
聴講者数：185 人



バックヤードツアー

普段は見ることのできない美術館の裏側を案内し、美術館の機能を紹介するツアー。

日 時：平成 22 年 5 月 23 日(日) 午後 1 時～2 時
定 員：20 人(先着順)
参加者数：17 人

ギャラリーツアー

当館のギャラリーガイドボランティアが常設展示を案内するツアー。

日 時：期間中、毎日午前 11 時からと午後 2 時からの 2 回(40 分程度)
参加者数：55 人(12 回合計)

アートクイズ

ミュージアムウィーク期間中、常設展示室内で、所蔵品に関わるさまざまなクイズを出題。参加者はクイズに答えながら作品鑑賞を行うというもの。毎日、先着5名に景品を贈呈した。

参加者数：57人

「黒田節ロボット参上」

平成21年にロボスクエアで開発された、黒田節を舞うロボットのパフォーマンスを披露

日時：平成22年5月23日(日) 午前10時30分～10時45分
場所：1階ロビー



連携事業

期間中、当館のレストランやブックショップにて割引サービスを行った。

印刷物 ポスター (B2)、チラシ (A4)、スタンプ台紙 (A4)

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により受け入れた。実習期間は平成22年5月1日から同年11月30日のうち10日間。

■西南大学

堤由美子 文学部 英文学科(3年生)
古瀬麻衣子 国際文化学部 国際文化学科(3年生)

■九州産業大学

松本梢 芸術学部 デザイン学科(4年生)
吉村和也 国際文化学部 国際文化学科(4年生)

■福岡大学

浦田知佳 人文学部 文化学科
麻生真里絵 人文学部 文化学科

■お茶の水大学

前田碧 生活科学部 人間生活学科

■筑紫女学園大学

落合裕梨 文学部 日本語・日本文学科(4年生)
谷口彩子 文学部 日本語・日本文学科(4年生)

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度 校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

平成22年9月 7日(火) 福岡市立城南中学校 5名

平成22年9月14日(火) 福岡市立平尾中学校 5名

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

■常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を集めた。

■特別展関連図書特集

- ・平成22年5月18日(火)―7月19日(月・祝) 「シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展」関連
- ・平成22年10月19日(火)―平成23年1月10日(月・祝) 「シャガール―ロシア・アヴァンギャルドとの出会い」関連
- ・平成23年3月15日(火)―5月8日(日) 「ハンブルク浮世絵コレクション展」関連

■読書室企画図書特集

夏休み子どもとしゃかん よんで、みて、旅しよう！本の中の世界

夏休み子ども美術館2010子どもギャラリー「ここはどこ？～アートで行こう・ふしぎの旅～」の開催に関連して、児童向けの美術書や美術作品の鑑賞のヒントが書かれているものを中心に美術に関心を持ったり理解を深めてもらえたりするような絵本など14冊を集めた。ここで特集した本のリストは同展のワークシートの巻末に記載した。

会 期：平成22年7月21日(水)―9月5日(日)
会 場：読書室



「キッズコーナー 森のたね」の開設

本事業は、福岡市教育委員会が行う「ミュージアムの魅力向上」の取組のひとつとして、子ども連れの来館者に「もっと気軽に子どもと一緒に美術館を楽しんでもらおう」と設置をしたものである。2階ロビーに授乳室もふくめて約70㎡のスペースをとり、福岡で活躍する美術家・オーギカナエ氏(久留米市在住)に制作を依頼した。大濠公園にふさわしく、「森・水辺・空」を感じさせる空間で、壁に展開する森の風景は、マジックテープで着脱できるクッションで描かれており、クッションは自由につけかえて遊ぶことができる。雲を思わせるテーブルとイスや、カラフルなソファ、畳を設置し、絵本など、子ども向けの図書も閲覧できるようにした。

場 所：2階ロビー
制 作：オーギカナエ氏(美術家)

オープニング企画「キッズコーナー 森のたね へようこそ」

オーギ氏にキッズコーナーにこめた思い、濱砂氏に福岡市(特に公共施設)の子育て環境などをうかがった上で、渡邊課長の子育て経験などもまじえフリートークを行った。

日 時：平成22年7月4日(日) 午前11時～11時30分
会 場：キッズコーナー

1. オープニングあいさつ：永松正彦(福岡市美術館長)

2. ミニトーク「子づれで美術館を楽しもう！」

パネラー：オーギカナエ氏(美術家、キッズコーナー制作者)

濱砂圭子氏(男女・子育て環境改善研究所理事長、福岡市美術館協議委員)

渡邊雄二(福岡市美術館学芸課長)

司 会：岩永悦子(福岡市美術館学芸員)

参 加 者：19人



協力事業

野村誠の左手の法則 ピアノのための 21 のダンス「福岡市美術館・REMIX」への協力

福岡市と財団法人福岡市文化芸術振興財団が主催する「2010福岡舞台芸術シリーズ 野村誠の左手の法則」のうち「ピアノのための21のダンス」公演に協力。前年度、当館展示室にて開催したワークショップをもとに作成されたピアノ曲の生演奏にあわせて、プロのダンサーによるコンテンポラリーダンスが当館ロビーにて披露された。

野村誠の左手の法則 ピアノのための 21 のダンス「福岡市美術館・REMIX」

日 時：平成 22 年 7 月 10 日(日) ①午後 1 時より ②午後 4 時より ※2 回公演
演 目：ピアノのための 21 のダンス「福岡市美術館・REMIX」
音 楽：野村誠作曲：ピアノのための 21 の小品「福岡市美術館」(2009)
出 演：(ピアノ)野村誠氏、(ダンス)遠田誠氏+高須賀千江子氏
会 場：1 階ロビー
参加者数：①110 名 ②80 名

「ママとこどものアートじかん 2010 ママのための連続アート講座」への協力

当事業はママとアートのこどもじかんプロジェクト実行委員会が開催する連続アート講座のうち、第5回目にあたる。当館で新設したキッズコーナーの紹介および未就園～未就学児童とその保護者の当館利用促進をはかるために企画された事業であるため、協力を行った。

ママとこどものアートじかん 2010 ママのための連続アート講座 第 5 回 「おでかけアート講座 こどもと一緒に美術館デビューツアー～福岡市美術館編」

日 時：10 月 23 日(土) 午前 10 時 10 分より約 2 時間
会 場：実技講座室、キッズコーナー、常設展示室
ツアーガイド：原田真紀氏(ママとアートのこどもじかんプロジェクト実行委員会代表)
ゲ ス ト：岩永悦子(福岡市美術館学芸員)
参 加 費：1,000 円
定 員：親子 10 組

内 容：1.「子連れで美術館攻略法」(原田真紀) 2.「福岡市美術館について」(岩永悦子) 3. 古美術展示室案内(岩永悦子) 4. 近現代美術展示室「子どもと鑑賞：5 作品」(原田真紀) 5. 施設見学

「第 5 回 NHK 福岡ハート・パーク」への協力

障がいのある人々の絵画作品を公募し、それをフラッグにして大濠公園の街路灯に展示し、人々の福祉への関心と理解が深まることを目的に毎年開催される展覧会。当館では公募作品の原画を展示する会場として協力した。

会 期：平成 22 年 10 月 26 日(火)～11 月 14 日(日)
会 場：1 階ロビー

ボランティア活動

■ボランティアについて

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では大きくギャラリーガイドボランティア、と美術情報ボランティアの二つのセクションに分かれ、「美術館の活動を支援し、且つ、それを通して社会に貢献すること」を目標に、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。なお、美術情報ボランティアは、さらに新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアと分かれる。

■新規ボランティアの研修

平成21年度に募集した第7期ボランティアの研修を4～9月まで実施し、10月から活動を開始した。今回新たに登録したボランティアはギャラリーガイドボランティア24名、新聞情報ボランティア20名、図書整理ボランティア8名、美術家情報整理ボランティア8名の合計60名である。

1. 共通研修

※講師は第10回(2)を除いて全て福岡市美術館職員

- | | |
|--|---|
| 第1回 平成22年4月6日(火)、10日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)職員の紹介 (2)ボランティアと美術館の基本情報
(3)館内施設案内
講 師：(2)稲永幸一 (3)鷲頭 桂、吉田暁子 | 第6回 平成22年5月25日(火)、29日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)所蔵品シリーズⅠ (古美術) 絵画 (2)所蔵品シリーズⅡ
(近現代美術) フランスを中心に
講 師：(1)渡邊雄二 (2)三谷理華 |
| 第2回 平成22年4月13日(火)、17日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)福岡市美術館の歴史・設立趣旨 (2)福岡市美術館ボランティアについて (3)新聞情報ボランティアについて
講 師：(1)渡邊雄二 (2)鷲頭 桂 (3)岩永悦子 | 第7回 平成22年6月1日(火)、5日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)所蔵品シリーズⅣ (古美術) 陶磁器 (2)所蔵品シリーズⅤ (近現代美術) 日本近代美術1 明治時代から大正時代までを中心に (3)所蔵品シリーズⅢ (近現代美術) 日本近代美術2 大正時代から昭和前期まで
講 師：(1)後藤 恒 (2)山本香瑞子 (3)吉田暁子 |
| 第3回 平成22年4月20日(火)、24日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)図書整理ボランティアについて (2)美術家情報整理ボランティアについて (3)ギャラリーガイドボランティアについて
講 師：(1)中務美紀 (2)山本香瑞子 (3)鷲頭 桂 | 第8回 平成22年6月8日(火)、12日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)所蔵品シリーズⅥ (古美術) 染織・工芸 (2)所蔵品シリーズⅦ (近現代美術) シュルレアリスムから現代美術まで
講 師：(1)岩永悦子 (2)正路佐知子 |
| 第4回 平成22年5月11日(火)、15日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)美術館の役割シリーズⅠ「保存」 (2)美術館の役割シリーズⅡ「調査・研究」
講 師：(1)三谷理華 (2)渡邊雄二 | 第9回 平成22年6月15日(火)、19日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)所蔵品シリーズⅧ (古美術) 彫刻 (2)所蔵品シリーズⅨ (近現代美術) 現代美術 戦後から最新動向まで
講 師：(1)後藤 恒 (2)山口洋三 |
| 第5回 平成22年5月18日(火)、22日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)美術館の役割シリーズⅢ「展示」 (2)美術館の役割シリーズⅣ「収集」
講 師：(1)正路佐知子 (2)山口洋三 | 第10回 平成22年6月22日(火)、26日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)美術館の役割シリーズⅤ「教育普及」 (2)①ボランティア活動とは何か ②障がいを持った来館者へのサービスの考え方
講 師：(1)鷲頭 桂 (2)松尾 林氏 (福岡市社会福祉協議会ボランティアセンター所長) |

2. グループ研修

ギャラリーガイドボランティア

※講師：各回ともに鷲頭 桂 (福岡市美術館学芸員)

- | | |
|---|---|
| 第1回 平成22年7月6日(火)、10日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)ガイダンス (2)活動の仕組み、ガイドの特徴 (3)①読書室の利用法 (講師：中務美紀) ②作品を調べてトークを考える | 第3回 平成22年7月31日(土)、8月3日(火)
午後1時30分～3時30分
内 容：2作品6分のトークを発表 |
| 第2回 平成22年7月13日(火)午後1時30分～3時30分、17日(土)午前10時～12時
内 容：(1)10分のトークの内容を考える (2)トークの練習 (3)トークの発表 | 第4回 平成22年8月28日(土)、31日(火)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)ボランティア室の使い方、ツアーの当番についてなど (2)40分3作品のツアーをつくる |

第5回 平成22年9月4日(土)、7日(火)
午前9時50分～午後4時40分
内 容：40分3作品のツアーの発表(1)

第6回 平成22年9月11日(土)、14日(火)、16日(木)
午前9時50分～午後3時50分
内 容：40分3作品のツアーの発表(2)

新聞情報ボランティア

※講師：各回ともに岩永悦子（福岡市美術館学芸員）

第1回 平成22年7月13日(火)、17日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)ガイダンス (2)ボランティア室周りの案内 (3)講義「新聞記事の選択基準」 (4)実習1-1「新聞記事のチェック実践」

第4回 平成22年8月24日(火)、28日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)講義「福岡市美術館図書の利用方法（講師：中務美紀）」 (2)講義「おすすめ新聞記事」の作り方 (3)グループ分けの確認

第2回 平成22年7月27日(火)、31日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)実習1-2「チェック済み記事の点検」 (2)講義「新聞記事の切り抜き・貼り込み」 (3)実習2「チェック済み記事の切り抜き・貼り込み」 (4)実習3-1「記事の選別」

第5回 平成22年8月31日(火)、9月4日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)講義「訃報記事の取り扱い」 (2)実習6「訃報記事のファイル・索引制作・コンピュータ入力」

第3回 平成22年8月3日(火)、7日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)実習3-2「前回の記事の選別の可否」 (2)実習4「記事の貼り込み」 (3)講義「ファイルの手順」 (4)実習5「ファイリング」

図書整理ボランティア

※講師：各回ともに中務美紀（福岡市美術館司書）

第1回 平成22年7月2日(金)、3日(土)、7日(水)
午後1時30分～午後3時30分
内 容：(1)研修内容及び資料ボランティア室の説明 (2)図書室・読書室の説明と書架整理

第5回 平成22年8月4日(水)、6日(金)、7日(土)
午後1時30分～3時30分
内 容：(1)広報誌整理 (2)雑誌記事整理

第2回 平成22年7月14日(水)、16日(金)、17日(土)
午後1時30分～午後3時30分
内 容：目録カード整理（並べ替え、記載、ケース入れ）

第6回 平成22年8月18日(水)、20日(金)、21日(土)
午後1時30分～午後3時30分
内 容：(1)活動曜日割り振り、9月スケジュール説明 (2)パソコン使用方法の説明

第3回 平成22年7月21日(水)、23日(金)、24日(土)
午後1時30分～午後3時30分
内 容：年報・紀要類装備

第7回 平成22年8月31日(火)、9月1日(水)、2日(木)、3日(金)、4日(土)
午前班：午前10時～午後12時 午後班：午後2時～午後4時
内 容：新・現ボランティア顔合わせ。基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、活動曜日毎の担当作業を行う。

第4回 平成22年7月28日(水)、30日(金)、31日(土)
午後1時30分～午後3時30分
内 容：作家、機関パンフレット整理

美術家情報整理ボランティア

※講師：各回ともに山本香瑞子（福岡市美術館学芸員）

第1回 平成22年7月10日(土)、13日(火)
内 容：(1)活動場所について (2)DM整理の流れについて (3)図書室の使い方

第3回 平成22年8月23日(月)、24日(火)
内 容：(1)前回の復習—入力について (2)ファイルメーカーproの使い方について (3)DMデータベース入力について1（入力の手順・検索）

第2回 平成22年8月9日(月)、10日(火)
内 容：(1)前回の復習 (2)コピー機の使い方について (3)保存封筒作成について (4)データベース入力実習1

第4回 平成22年9月13日(月)、14日(火)
内 容：(1)DMデータベース入力について2（校正・バックアップ・印刷） (2)データベース入力実習2

■各ボランティアの活動

ギャラリーガイドボランティア

平成22年度の登録人数：4～9月 59人 10～3月 83人

・ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分、参加費無料(常設展観覧料のみ)のギャラリーツアーを行っている。ボランティアは自ら決めたテーマに沿って常設展示の作品から3点を選び、参加者と対話を重視しながら作品を紹介する。(※8月は「ギャラリーツアー for キッズ！夏休み特別版」開催のため午後2時からの回は休止)

参加者数：444人

・ギャラリーツアー for キッズ！

平成 20 年度より始まったこどもを対象としたギャラリーツアー。毎月第 2 土曜日、第 2 日曜日の午後 2 時から約 1 時間で、ボランティア自身が考えたテーマに沿い、こどもの目線に立って対話をしながら 3 点の作品を案内する。(※ 8 月は「夏休み特別版」開催のため休止)

参加者数：こども 18 人、大人 7 人

・団体向けツアー

上記ギャラリーツアー以外に、申込みいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は下記のとおり。なお、市内学校団体向けのツアーは「こどもアートアドベンチャー」の項目(p.19)を参照のこと。

平成 22 年

4月9日(金) 志士会	30人
5月1日(土) 九州大学大学院芸術工学研究室 学生 50人 引率 1人 藤原恵洋教授ゼミ	
5月21日(金) 九州高等学校デザイン科 1、2年生 学生 180人 引率 3人	
5月22日(土) 平尾大学(平尾公民館高齢者 サークル「歩こう会」)	約 30人
5月25日(火) 玄界高等学校 2年生 学生 46人 引率 2人	
6月5日(土) 古賀市アートバス(花見小学校) 児童 21人 引率 3人 大学生ボランティア 13人	
6月18日(金) 福岡手話の会	30人
6月29日(火) 小笹茶道サークル	10人
7月10日(土) 遠賀郡水巻中学校美術部	生徒 20人 引率 1人
7月18日(日) 九州国立博物館交流課ボランティア交流会	6人
7月21日(水) 釜山美術協会 夏講座	50人
8月5日(木) 久留米市高良内学童保育所 1～3年生 児童 80人 引率 5人	
8月17日(火) いちくら着物着付教室	9人
8月18日(水) いちくら着物着付教室	9人
8月18日(水) 福岡東部こども劇場	30人
8月20日(金) いちくら着物着付教室	7人
8月21日(土) いちくら着物着付教室	11人

8月22日(日) いちくら着物着付教室	11人
9月18日(土) 古賀市アートバス	児童 11人 引率 3人 大学生ボランティア 2人
9月24日(金) 早良区施設見学会(有住小学校 PTA)	25人
10月14日(木) 玄海町立有徳小学校 5年生	児童 39人 引率 3人
10月28日(木) 門司大翔館高等学校 1年生	生徒 232人 引率 13人
10月30日(土) 医療法人 相生会 博多クリニック	20人
11月9日(火) 個人グループ	10人
11月16日(火) 柳川市三橋町矢加部地区社会福祉協議会	15人
11月30日(火) 那珂川町立安徳北小学校 5年生	児童 127人 引率 5人
12月4日(土) 福岡アジア美術館ボランティア	22人
12月15日(水) 小郡市三国中学校 1年生	生徒 28人 引率 2人
12月23日(木) 福岡大学女子バレーボール部	学生 15人

平成 23 年

2月23日(水) 筑後市立西牟田小学校 6年生	児童 53人 引率 3人
3月1日(火) ザ・フレンドシップフォースオブ福岡	25人
3月4日(金) 門司学園中学校 2年生	生徒 120人 引率 6人
3月10日(木) 甲佐の歴史を語る会	22人
3月12日(土) 熊本県立大津高等学校 1、2年生	生徒 40人 引率 3人

新聞情報ボランティア

平成22年度の登録人数：4～9月 30人 10～3月 50人

・活動日

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。
月曜日：毎日新聞、火曜日：読売新聞、水曜日：西日本新聞、木曜日：朝日新聞、土曜日：日本経済新聞

・活動内容

月に 1 回共同作業日(原則毎月 10 日前後)を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。計報記事の整理作業は、月末に各曜日持ち回りで行う。平成 14 年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度もおおむね月 1 回ペースで作成した(第 91 号～第 102 号)。

平成 22 年

4月7日(水) 共同作業 2月分記事ファイル(参加6名)	
4月20日(火) 火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第91号作成	
4月28日(木) 計報記事整理(参加7名)	
5月12日(水) 水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第92号作成	
5月13日(木) 共同作業 朝日新聞記事整理(参加1名)	
5月27日(木) 計報記事整理(参加1名)	
6月12日(水) 共同作業 4月分記事ファイル(参加3名)	
6月24日(木) 木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第93号作成	
6月26日(土) 計報記事整理(参加2名)	
7月12日(月) 共同作業 5月分記事ファイル、1982年一般記事整理(参加6名)	
7月17日(土) 新人ボランティア研修会1 オブザーバー参加(参加4名)	

7月26日(月) 共同作業 新人ボランティア研修生課題チェック(参加6名)	
7月27日(火) 新人ボランティア研修会2 オブザーバー参加(参加7名)	
8月2日(月) 計報記事整理(参加4名)	
8月3日(火) 新人ボランティア研修会3 オブザーバー参加(参加2名)	
8月7日(土) 土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第94号作成	
8月28日(土) 新人ボランティア研修会4 オブザーバー参加(参加1名)	
8月30日(月) 月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第95号作成	
8月31日(火) 計報記事整理(参加4名)	
9月4日(土) 新人ボランティア研修会4 オブザーバー参加(参加2名)	
9月6日(月) 新人ボランティア活動参加開始(9月2週目より)	
9月15日(水) 共同作業 7月分記事ファイル(参加6名)	

9月 28日 (火) 火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第96号作成
9月 29日 (水) 計報記事整理 (参加5名)
10月 7日 (木) 共同作業 一般美術記事整理 (参加6名)
10月 27日 (水) 水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第97号作成
10月 28日 (木) 計報記事整理 (参加3名)
11月 1日 (月) 計報記事整理 (参加3名)
11月 6日 (土) 共同作業 9月分記事ファイル (参加3名)
12月 2日 (木) 木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第98号作成
12月 4日 (土) 計報記事整理 (参加5名) 共同作業 福岡アジア美術館ボランティアとの交流 (参加5名)
12月 6日 (月) 共同作業 1982年一般記事、1979～1985年福岡市美術館記事整理 (参加8名)
12月 18日 (土) 土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第99号作成
12月 20日 (月) 計報記事整理 (参加5名)

平成23年

1月 18日 (火) 共同作業 2010年11月分記事ファイル、12月分記事整理 (参加10名)
1月 24日 (月) 月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第100号作成
1月 25日 (火) 計報記事整理 (参加7名)
2月 9日 (水) 研修会 懇親会 共同作業 2010年12月分記事ファイル (参加13名)
2月 15日 (火) 土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第101号作成
2月 23日 (水) 計報記事整理 (参加4名)
3月 10日 (木) 共同作業 1月分記事チェック (参加7名)
3月 23日 (水) 水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第102号作成
3月 31日 (水) 計報記事整理 (参加5名)

図書整理ボランティア

平成22年度の登録人数：4～9月 18人 10～3月 26人

・活動日

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

・活動内容

○目録カード整理作業

目録カードに標目を記載する。
分類変更の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

○パンフレット資料整理作業

作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

○広報誌整理作業

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

○情報誌・雑誌整理作業

タウン情報誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

○紀要・年報類の受入作業

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
資料を書架に配架する。

○掲載作家名パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。

美術家情報整理ボランティア

平成22年度の登録人数：4～9月 10人 10～3月 18人

・活動日

月曜日～金曜日

各曜日で午前と午後の各版にて作業を行う。

今年度8名を増員し、7月～9月のグループ研修、9月末～10月上旬の実習(先輩ボランティアの活動日に参加)を経て10月18日(月)から新規ボランティアの活動が始まった。

月に1回共同作業日を設け、展覧会案内ハガキを保存する封筒の整理と大きさの切り替えを行っている。

・活動内容

展覧会DMの分類・整理・データベース入力

美術館に郵送されてくるDMを分類し、作家名、展覧会名、会期、会場、その他の情報をデータベースに入力。2011年3月末現在で11079件のデータ入力が完了した。入力と校正の済んだハガキはカード資料室に整理して保管する。また、カード資料室でハガキを収納する封筒の大きさを順次小さいものに変更し、収納スペースの確保をはかっている。

出版物

■ 展覧会図録

名称	規格	頁数	編集・発行
第9回21世紀の作家—福岡 大浦こころ展 やわらかな圧力	A4変形	48	福岡市美術館
藍染の美—筒描	A4変形	143	福岡市美術館
第45回福岡市美術展	A4変形	47	福岡市美術館

■ 常設展リーフレット

近現代美術リーフレット

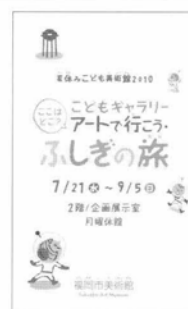
No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
271	藤森静雄の版画	A4	4	小作品室	平成22年5月18日
272	長谷川伝次郎の写真	A4	4	小作品室	平成22年7月21日
	藤野一友展	A4	6	企画展示室、小作品室	平成22年9月7日
273	アレクサンドル・ロトチェンコの写真展	A4	4	小作品室	平成22年11月2日
274	シリーズ美術の技法III 油彩画の修復	A4	6	小作品室	平成23年1月5日
275	シリーズ美術の技法IV 木版	A4	4	小作品室	平成23年3月29日
	新収蔵品展	A4	4	企画展示室	平成23年3月29日

古美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
196	漆芸の極み—蒔絵	A4	4	古美術企画展示室	平成22年7月13日
197	生誕135年記念 茶人・松永安左工門	A4	4	松永記念館室	平成22年7月13日
198	仙厓展「仙厓さんとおともだち」	A4	4	古美術企画展示室	平成22年9月14日
199	藍染の美—筒描	A4	4	古美術企画展示室	平成23年1月5日
200	器の景色	A4	4	松永記念館室	平成23年2月8日
201	新収蔵作品展	A4	4	古美術企画展示室	平成23年3月29日

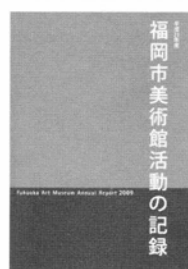
■ 夏休み子ども美術館リーフレット

名称	規格	発行日
夏休み子ども美術館2010 子どもギャラリー	14.8×72.0cm	平成22年7月21日
ここはどこ?〜アートで行こう・ふしぎの旅〜	8つ折り	



■ 福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成21年度福岡市美術館活動の記録	A4	54	平成23年3月18日



■美術館ニュース エスプラナード

No.	発行日	内容	規格	頁数
159	平成 22 年 4 月 1 日	シアトル美術館所蔵 美しきアジアの玉手箱 日本・東洋美術名品展 学芸員 後藤 恒/平成 22 年度福岡市美術館年間スケジュール/教育普及報告 第 11 回所蔵品によるアートセミナー 報告「黒田清輝を殴った男?!—吉田博」 学芸員 三谷理華/福岡市美術館のコレクション 藤森静雄資料 創作版画の歩みとともに 学芸員 山本香瑞子/所蔵品紹介 No.274 近現代美術 在りし日の想い 西本コレクション 木下 晋 学芸員 山口洋三/学芸員だより 「波頭型」と「D型」!? 学芸員 吉田暁子/福岡市美術館展覧会スケジュール 4 月 -6 月/他館展覧会案内/福岡市美術館からのお知らせ/編集後記	A4	12
160	平成 22 年 7 月 1 日	夏休み子ども美術館 2010 学芸員 鷲頭 桂/常設展示より 1「生誕百三十五年記念 茶人・松永耳庵」展 学芸員 岩永悦子/常設展示より 2 長谷川伝次郎の写真 学芸員 山口洋三/福岡市美術館のコレクション 藤野一友作品・資料 「密室の画家」が残したもの 学芸員 正路佐知子/所蔵品紹介 No.275 古美術 流水梅柳文蒔絵螺鈿鏡箱 学芸員 渡邊雄二/学芸員だより つくって!わかる?アート講座 vol.4 報告 「唐津焼『たつき成形』と絵付けでオリジナルの鉢を作ろう」 学芸員 鷲頭 桂/福岡市美術館展覧会スケジュール 7 月 -9 月/他館展覧会案内/福岡市美術館からのお知らせ/編集後記	A4	12
161	平成 22 年 10 月 1 日	シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い 交錯する夢と前衛 学芸員 三谷理華/キッズコーナーオープン記念 オーギカナエ インタビュー「植物が日光をおいかけられるように・・・」 構成:学芸員 岩永悦子/教育普及より 福岡市美術館ボランティア・7 期生 10 月 1 日より、活動をはじめます! 学芸員 鷲頭 桂/常設展示より「コレクション・ミックス」一つれづれなくさむもの一 学芸員 吉田暁子/所蔵品紹介 No.276 古美術 転法輪印仏陀坐像 学芸員 後藤 恒/学芸員だより 《ポルト・リガトの聖母》アメリカへ渡る 学芸員 山本香瑞子/福岡市美術館展覧会スケジュール 10 月 -12 月/他館展覧会案内/福岡市美術館からのお知らせ/編集後記	A4	12
162	平成 23 年 1 月 1 日	愛のように深い、藍。藍染の美—筒描 学芸員 岩永悦子/第 9 回 21 世紀の作家—福岡 大浦こころ展 やわらかな圧力 学芸員 正路佐知子/常設展示より シリーズ美術の技法 III 油彩画の修復 学芸員 三谷理華/器の景色 学芸員 後藤 恒/所蔵品紹介 No.277 近現代美術 早春路上 椿 貞夫 学芸員 吉田暁子/学芸員だより こたつで読む美術(現代編) 学芸員 山口洋三/福岡市美術館展覧会スケジュール 1 月 -3 月/他館展覧会案内/福岡市美術館からのお知らせ/編集後記	A4	12

エスプラナード159~162号▶



「九州派資料集発刊のための再調査」

山口洋三

調査期間：平成22年4月～23年3月

九州派は、1950年代後半(昭和30年代前半)に福岡市で誕生した前衛美術集団であり、同市を拠点に約15年にわたり活動した。1988(昭和63)年に福岡市美術館において初めて回顧展がなされ、残存作品とともに詳細な活動歴を明らかにした図録も刊行された。その折、九州派記録集の発刊が計画されたものの、未だ実現していない。しかし近年さまざまな角度から九州派への注目が集まっており、資料集という形での情報発信が求められている。本研究は、将来刊行予定の九州派資料集編集のためのものである。1988年の九州派展図録の活動歴を補完するための文献再調査を行い、これらをデータベース化した。そして存命の元・九州派作家にあらためてインタビューを行い、それをすべて書きおこして文字媒体に置き換えた。これは、「九州派」という集団がそもそも持っていた多様性を明らかにするためである。作家ひとりひとりに詳細にインタビューして、作家個人人の動向や考えを明らかにすることができた。このインタビュー資料は、個人よりもグループ活動の動向や、主要作家の活動に比重を置きがちだった従来の前衛美術研究を補完、更新する側面を持つ。そして、地方都市としては活発な美術活動がおこなわれている福岡における、その歴史的原点の全貌を明らかにすることが期待されるのである。

※本調査は、平成22年度ポニー美術振興財団による研究助成によった。

「ラファエル・コラン旧蔵極東美術コレクションにまつわる基礎的調査」

三谷理華

調査期間：平成22年7月11日～31日
平成23年1月20日～2月9日

調査先：フランス国立図書館(パリ市)、サント＝ジュヌヴィエーヴ図書館(パリ市)、INHA図書館(パリ市)、個人宅

本調査では、フランス人画家ラファエル・コラン(1850-1916)旧蔵の極東美術コレクションの一部を調査し、その基本データの集積や目録化を行い、今後展開される研究の基礎構築を行うことを目指した。より具体的には、所蔵先において各資料の個別データを採取していく一方で、フランスの主要図書館でそれらを評価するために有効と思われる文献資料を探索した。大まかには初期の目的には達したため、今後詳細な詰めを行っていくとともに、得られたデータに考察を加え、研究を展開させていきたいと考える。

初期狩野派の水墨花鳥図の展開についてー伝統と革新ー

渡邊雄二

研究の概要

聚光院方丈室中ノ間水墨花鳥図(以下、聚光院本花鳥図)は永禄9年(1566)狩野永徳の24歳の作として、彼の早熟な天才をいかに発揮した桃山時代のさきがけとなる絵画と位置づけられてきた。しかし、この水墨花鳥図の画面いっぱいに描かれた大振りのモチーフとその構成、描写の特殊性、新規性については述べられることは多いが、それらを先行の作品と比較して考察することはまれであったと思う。

聚光院本花鳥図に関連する作例、たとえば狩野元信筆水墨花鳥図屏風や元信印水墨花鳥図屏風など初期狩野派の作例と思われる大画面の水墨花鳥図などを丁寧に見ていくことによって、初期狩野派が伝統的なモチーフの形態や描写を取り入れて、大画面の上にそれらを構築していく傾向が見えるのではないかと考えた。

これまでこうした絵画の描写に狩野元信や狩野永徳、あるいは松栄などといった個性を見出して、画人を特定しようとするのが、研究の最大関心事のように思われていたが、それら作品の作者を初期狩野派の中心的人物を含んだ大きな画家集団としてとらえながら、表現の上で関連しているいわゆる行体の水墨花鳥図、とくに屏風、襖絵などの大画面の作例に注目して、それらが聚光院本花鳥図に展開していく様相が見えればと考えた。

調査の結果

作品群の検討から聚光院本花鳥図の特性を再確認した。

- ・ 個々のモチーフの形態はほとんど先例があり、それらを組み合わせて構成している。しかし、元信筆花鳥図屏風下絵の構成による屏風などとは関係なく、永徳独自の構成といえよう。
- ・ モチーフの先例は狩野正信のほか中国絵画からの筆様受容によるものがその祖形になっているように思われるが、その候補、制作の経緯についてはさらに検討が必要である。ただし、これまでのように狩野派内での影響のみを考察するのではなく、阿弥派(祥啓一派をふくむ)の画家や雪舟系の画家の作例も視野に入れて検討すべきと考える。
- ・ いくつかの元信印花鳥図屏風の描写は聚光院の描写に近い作例があり、元信から永徳への画風展開を示しているように思われる。それらは優れた作例ではあるが、元信あるいは永徳の手になると確定することは難しい。元信によって行体の水墨花鳥図の描写とその屏風の構図(元信印花鳥図屏風)が示され、その周辺の画家により、バリエーションを加えられ複数例作られたのであろう。こうした大画面の水墨花鳥図の制作が聚光院本花鳥図を生み出したと思われる。

こうしたことから以上掲げた伝統性のみでは語れない聚光院本花鳥図の特性も明らかになってきたといえよう。

- ・ 画面構成は東、北、西の三面を画面とした立体的な三次元の構成である。各面においては近景にモチーフが集中して立体感が少ないように見えるが、これを部屋の中に視点を置いて眺めると全画面の中において近景と思われたモチーフが場所によって中景であったりする。こうした三次元的構成を永徳は綿密に聚光院方丈室中ノ間を実現したのである。さらに室中ノ間の内側の仏間の下段襖絵は狩野松栄の水墨花鳥図であるが、北面の開山像前の二面の襖を開けるとそれらが現れる。北面の鷺が仏間の描写に近く、仏間の同主題の絵と関連性があるのかもしれない。
- ・ 構成はそうした奥行き関係だけでなく、松の樹木の曲線の形態と鶴の姿との対応、雁同士の呼応とその周囲の草類のなびき方が同方向であるなど、実に綿密に平面上においても幾何学的に関連性づけてモチーフを配している。そのために画面にはりつめた緊張感が漂う。関連づけられたモチーフとその間にある空間など計算しつくされた観がある。
- ・ これらモチーフの形態は先行する元信あるいは元信印花鳥図のモチーフを踏襲しているが、その数を絞り個々のモチーフを大きくしているようだ。
- ・ 画面に現実感あるいはそれ以上の迫力を持って表現されるのは、松や梅などの大樹であろう。しかし、これらの描写も大仙院や靈雲院といった元信の先行作例によるものと考えられ、さらに雪舟の花鳥図屏風の影響も無視し得ない。

宗秀、光信、孝信といった永徳の後継者たちは、以後の大画面花鳥図において、完全に水墨のみで表現することは稀で、着色による金地を用いた花鳥図を中心に描いていった。

こうしたことから聚光院方丈花鳥図は水墨表現による初期狩野派の大画面花鳥画の行き着いた表現でもあったのではないかと考える。桃山時代においては、狩野派以外の長谷川等伯、海北友松、雲谷等顔、また、関東の雪村周継らが水墨表現による花鳥図を描いたが、そこでは狩野永徳が聚光院で結実させた伝統的なモチーフは影を潜めたといえよう。

研究の課題

今回の調査は聚光院方丈室中ノ間障壁画の位置づけを考える上で、また、初期狩野派の大画面花鳥図を考える上で重要な作業であったと思われる。先述したように調査しえない作品があり、その全体像、あるいは元信の画体について確信しえない点もあるが、各作品の作者を性急に設定するよりも、その展開の様相を下絵の存在や描写自体から推察することが良いのではないだろうか。また、元信印水墨花鳥図屏風は元信の周辺にその意志を継ぐすぐれた複数の絵師がいたことを推察させる。

聚光院本花鳥図の永徳の個性、描写については近年永徳作と認められるようになった福岡市博物館本二十四孝図屏風のなかにも近似した形態や描写のモチーフがある。これは松栄の花鳥図屏風についても松栄の二十四孝図屏風(洛東遺宝館、岩村家本)などとも表現の共通性を見出し、画面全体の主題とは別に水墨表現のパーツとしてのモチーフの役割を広げて考えることも必要かと思われる。

逆に同じ主題として水墨(行体)の花鳥図だけでなく元信以降の着色(楷体)の花鳥図もあわせて考察すべきであったが、着色画については元信の作例も限られており、水墨花鳥図のように展開を追うことが難しいことから、今回は水墨の描写の系譜を中心に考えた。このことにより初期狩野派の画風の展開の連続性がわかり、聚光院本花鳥図が孤立した作品でないことが理解できた。しかし、楷体花鳥図屏風にも輦隠印を捺す作例や松栄の作には花鳥図屏風下絵と同様の構成をもつものがあり、今後は同じ水墨の表現の別主題の絵画あるいは楷体着色の花鳥図など広く関連の作品を位置づけていくことを課題の一つとしたい。

また、聚光院方丈の室中ノ間以外の部屋の障壁画についてもモチーフ、描写について検討し、その成立について先例との関係を追うことが出来ると聚光院方丈全体として永徳および松栄の画業が初期狩野派の画業全体の中で正確に位置づけられるのではないかと考え、さらに関連作品の調査をすべきであろうと考える。

※本調査研究は、平成 22 年度美術館連絡協議会研究助成の成果である。

美術資料

■美術資料収集件数一覧

近現代美術			古美術			総計
購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	
1点	30点	31点	3点	27点	30点	61点

■近現代美術

購入

郷土作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-558	川上省三	(題不詳)	不詳	76.4×51.3	油彩、ペン・紙	42200365

寄贈

郷土作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-585	川原田 徹	わんぱく迷路	1990	97.3×145.5	油彩、テンペラ・板	42211973
1-A-586	椎野 修	野田好子像	1937頃	31.0×26.3	油彩・厚紙	42211974
1-A-588	田部光子	プラカード	1961	86.5×93.2	印刷物、真鍮、口紅、墨、塗料、ニス・紙(襖)	42211975
1-A-589	田部光子	ああ！寺山修司	1966	72.5×90.8	アクリル、印刷物・画布	42211976
1-A-590	田部光子	Sign Language	1996-2010	129.7×119.8×6.5	油彩、石膏、金箔、印刷物・板	42211977
1-A-591	馬場武尚	乾いた海 B	1974	162.0×130.6	油彩・画布	42211978
1-A-592	藤山貴司	流出する子供達・目なしうさぎの行進	1999	190.2×375.0	油彩・画布	42211979
1-A-593	山内重太郎	太陽と人	1958	91.0×73.0	銅板、アスファルト、石膏・板	42211981
1-A-594	山田依子	土 (アーダーマ)	2010	259.0×181.5	油彩、麻布、綿布、和紙、紙紐・画布	42211982
1-A-606	和田千秋	歩きたい (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	91.0×72.7	靴、アクリル・画布	42211983
1-A-607	和田千秋	《ハネがほしいー白鳥》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	80.3×130.3	アクリル・画布	42211984
1-A-608	和田千秋	《ハネがほしいー蝶》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	80.3×100.0	アクリル・画布	42211985
1-A-609	和田千秋	《ハネがほしいー蝙蝠》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	80.3×130.3	アクリル・画布	42211986
1-A-610	和田千秋	《ハネがほしいー蝉》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	100.0×80.3	アクリル・画布	42211987
1-A-611	和田千秋	《ハネがほしいー蜻蛉》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	74.2×116.8	アクリル・画布	42211988
1-A-612	和田千秋	《ハネがほしいー蛾》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	74.2×116.8	アクリル・画布	42211989
1-A-613	和田千秋	《ハネがほしいー旅人の神 (メルクリウス)》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	91.0×72.7	アクリル・画布	42211991
1-A-614	和田千秋	《ハネがほしいー天使》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	53.0×65.1	アクリル・画布	42211992
1-A-615	和田千秋	《母と子》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	112.2×145.5	アクリル・画布	42211993

郷土作家 彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-65	山内重太郎	原型	1960	19.5×25.0×24.0	石膏	42211980
1-G-66	和田千秋	《ハネがほしいーハネが生えた靴》 (「障碍の美術IX-ハネがほしい」より)	2003	高さ16.0	補装靴、紙粘土	42211990

日本作家 彫刻等

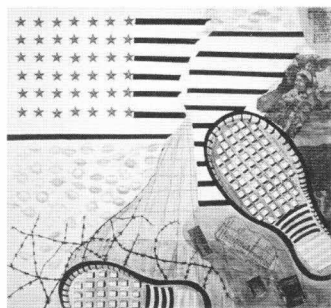
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-G-44	上前智祐	黒木の立体	1972	180.5×52.8×93.5	塗料、木	42211994

海外作家 素描

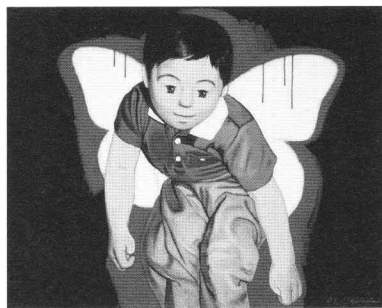
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
3-D-34	レオナルド・フジタ (藤田嗣治)	自画像	1928	29.0×20.6	鉛筆・紙	42211965

海外作家 版画

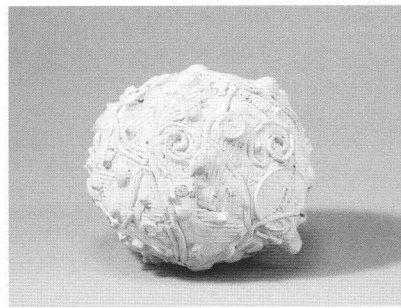
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
3-E-774	郭 徳俊	レーガンIIと郭	2006	53.8×39.5	シルクスクリーン・紙	42211966
3-E-775	郭 徳俊	ブッシュ (父) と郭	2010	54.0×37.9	シルクスクリーン・紙	42211967
3-E-776	郭 徳俊	クリントンと郭	2003	54.7×41.4	シルクスクリーン・紙	42211968
3-E-777	郭 徳俊	クリントン II と郭	2000	51.8×37.1	シルクスクリーン・紙	42211969
3-E-778	郭 徳俊	ブッシュ2001と郭	2002	54.0×36.2	シルクスクリーン・紙	42211970
3-E-779	郭 徳俊	ブッシュ2001 (II) と郭	2005	52.5×37.0	シルクスクリーン・紙	42211971
3-E-780	郭 徳俊	オバマと郭	2009	51.7×36.7	シルクスクリーン・紙	42211972



田部光子《ブラカード》1961年▲



和田千秋《ハネがほしい—蝶—》▲
(「障碍の美術IX-ハネがほしい」より) 2003年
撮影:吉住美昭



山内重太郎《原型》1960年▲

■ 古美術

購入

一般古美術資料 絵画

所蔵品番号	作品名	作者	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-B-38	紫式部図	土佐光起	江戸時代	縦86.6 横38.3	絹本着色	42200364

一般古美術資料 陶磁器

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Ha-161	瓢形耳付水指	高取焼 (内ヶ磯窯)	江戸時代初期	高さ16.3 口径12.0 胴径18.6 底径13.8	陶器	42200362
14-Ha-163	伊賀耳付水指	伊賀焼	江戸時代初期	高さ20.8 胴径20.9 底径19.3	陶器	42200363

寄贈

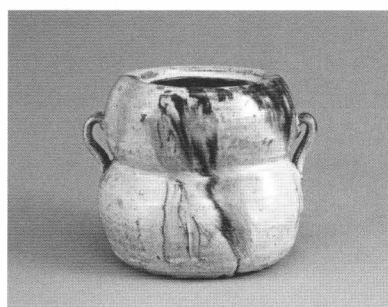
一般古美術資料 染織

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Hd-302	幾何学文様苗錦布団上掛け	中国・広西壮(チワン)族自治区	20世紀	182.5×112.5	木綿、絹	42205942

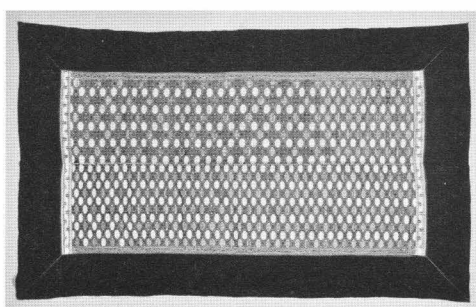
川村コレクション 彫刻等

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
21-G-123	ヘーヴァジュラ曼荼羅	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦15.5 横8.2 厚さ2.0	埴仏	42205916
21-G-124	青銅製ヘーヴァジュラ曼荼羅型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦14.3 横8.2 厚さ1.4 奥行3.6	埴仏型 (青銅製)	42205917
21-G-125	青銅製ヘーヴァジュラ曼荼羅型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦15.5 横8.3 厚さ0.4 奥行2.5	埴仏型 (青銅製)	42205918
21-G-126	ヘーヴァジュラ曼荼羅	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦7.7 横6.7 (現状) 厚さ1.1	埴仏	42205919
21-G-127	青銅製ヘーヴァジュラ曼荼羅型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦16.5 横13.3 厚さ0.9 奥行5.5	埴仏型 (青銅製)	42205920

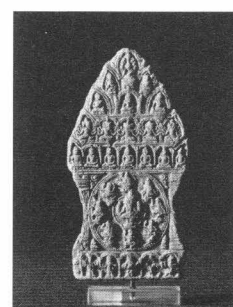
所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
21-G-128	ヘーヴァジュラ曼荼羅型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦7.3 横5.7 奥行4.1	埴仏型 (青銅製)	42205921
21-G-129	ヘーヴァジュラ三尊像型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦6.1 横5.5 奥行3.5	埴仏型 (青銅製)	42205922
21-G-130	青銅製ヘーヴァジュラ三尊像型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦8.0 横7.0 厚さ1.0 奥行3.0	埴仏型 (青銅製)	42205923
21-G-131	ガネーシャ像型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦13.5 横11.1 厚さ4.5	埴仏型 (青銅製)	42205924
21-G-132	青銅製仏四尊像型	カンボジア	クメール時代 11-12世紀	縦8.3 横6.8 奥行3.4	埴仏型 (青銅製)	42205925
21-G-133	青銅製仏三尊像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦17.0 横14.4 厚さ0.7 奥行5.8	埴仏型 (青銅製)	42205926
21-G-134	青銅製仏三尊像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦9.2 横7.6	埴仏型 (青銅製)	42205927
21-G-135	青銅製仏三尊像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦7.5 横6.1 厚さ0.3 奥行3.3	埴仏型 (青銅製)	42205928
21-G-136	青銅製三尊像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦10.5 横8.4 厚さ0.5 奥行3.3	埴仏型 (青銅製)	42205929
21-G-137	触地印仏陀坐像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦16.3 横9.3 厚さ3.4	埴仏	42205930
21-G-138	触地印仏陀坐像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦12.0(現状) 横10.0 厚さ4.0	埴仏	42205931
21-G-139	青銅製触地印仏陀坐像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦18.0 横9.9 厚さ3.0 奥行7.3	埴仏型 (青銅製)	42205932
21-G-140	青銅製千体仏型 (59軀の仏陀坐像)	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦21.2 横16.3 厚さ0.8 奥行6.1	埴仏型 (青銅製)	42205933
21-G-141	青銅製千体仏板 (30軀の仏陀像)	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦19.4 横17.6 厚さ0.3	青銅製鍍金	42205934
21-G-142	金銅女神立像	カンボジア	クメール時代 11-12世紀	縦21.5 台座幅5.4×5.5	青銅製鍍金	42205935
21-G-143	金銅女神立像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦25.5 幅7.6	青銅製鍍金	42205936
21-G-144	金銅女神立像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦13.5 幅3.7	青銅製鍍金	42205937
21-G-145	金銅女神立像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦13.0 幅4.3	青銅製鍍金	42205938
21-G-146	石造線刻ヴィシュヌ神像	カンボジア	クメール時代 14-15世紀	縦17.0 横13.4 厚さ3.7	石製	42205939
21-G-147	仏三尊像	タイ	アユタヤ時代 14-15世紀	縦5.2 横4.0 厚さ1.0	埴仏	42205940
21-G-148	真鍮製ヴィシュヌ神半跏像	タイ	ラタナコシン時代 20世紀	縦6.0 幅3.1	真鍮製	42205941



瓢形耳付水指 高取焼 江戸時代初期 ▲



幾何学文様苗錦布団上掛け 中国 20世紀 ▲



ヘーヴァジュラ曼荼羅 ▲
カンボジア 11-13世紀

図書・映像資料

図書関係受入状況

		和書	洋書
購入	図書	83	15
	図録	4	5
	年報・紀要	2	0
	寄贈		
寄贈	図書	79	20
	図録	524	40
	年報・紀要	268	0
	製本資料	0	0
	雑誌	396	112
合計		1,356	192
総計			1,548

単位(冊)

映像資料関係受入状況

購入	ビデオ	0
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	0
	DVD	0
寄贈	マイクロフィルム	0
	ビデオ	0
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	2
	DVD	9
	マイクロフィルム	0
合計		11

単位(点)

美術資料の修復

■近現代美術

種別	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
油彩等	多々羅義雄	房州海岸	1914	105.0×119.1	油彩・画布	1点	1-A-82
油彩等	俣野 衛	裏切りのイメージ	1957	183.0×183.7	アスファルト、ペンキ・板	1点	1-A-357
油彩等	舟木富治	ピンク・ポップ・ノミ(B)	1968	161.8×130.5	油彩、ペンキ・画布	1点	1-A-505
油彩等	山内重太郎	太陽と人	1958	91.0×73.0	銅板、アスファルト、石膏・板	1点	1-A-593

■古美術

種別	作品名	作者名	時代	法量 (cm)	品質	数量	所蔵品番号
絵画	三十六歌仙画冊	岩佐又兵衛	江戸時代初期	(各)縦 21.0 横 21.6	紙本着色	1冊 36紙	14-B-26
陶磁器	色絵鶏親子置物	有田焼 古伊万里様式	江戸時代	総高 30.3 底径 15.7	磁器	1口	14-Ha-12
陶磁器	瓢形耳付水指	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代初期	高さ 16.3 口径 12.0 胴径 18.6 底径 13.8	陶器	1口	14-Ha-161
染織	蜀江文印金絞肩掛	インドネシア産	19-20世紀	経 209.7 緯 92.2(織幅)	絹	1枚	14-Hd-295

美術資料の貸出

■近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	牛島憲之	貝焼場	1-A-23	海を想う—海に魅せられた画家たち	釧路市立美術館	平成22年6月5日—7月11日
油彩等	福田新生	能登の布晒し	1-A-179		田辺市立美術館	平成22年7月19日—9月12日
日本画	富田溪仙	沖繩三題	1-B-65		八幡浜市民ギャラリー	平成22年9月18日—10月24日
日本画	富田溪仙	沖繩三題	1-B-158		唐津市近代図書館	平成22年10月30日—12月5日
油彩等	和田三造	伊豆大島乳が崎沖より伊豆天城山及び富士を望む	7-A-58			
油彩等	古賀春江	生誕	1-A-38	古賀春江の全貌展 —新しい神話が始まる。—	石橋財団石橋美術館 神奈川県立近代美術館	平成22年7月3日—9月5日 平成22年9月18日—11月23日
油彩等	マルク・シャガール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87	シャガール—ロシア・アヴァンギャルドとの出会い	東京藝術大学大学美術館 福岡市美術館	平成22年7月3日—10月11日 平成22年10月23日—平成23年1月10日
彫刻等	ナム=ジュン=パイク	冥王星人	3-G-42	ロボットと美術 機械×身体のパブリックイメージ	青森県立美術館 静岡県立美術館 島根県立石見美術館	平成22年7月10日—8月29日 平成22年9月18日—11月7日 平成22年11月20日—平成23年1月10日
油彩等	椎野 修	子ども達	1-A-198	ふる里への想い 椎野修絵画展	コスメイト行橋	平成22年8月1日—8月22日
油彩等	椎野 修	博多港 I	1-A-296			
油彩等	椎野 修	水車小屋の内部	1-A-417			
油彩等	サルヴァドル・ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405	ダリ:後期作品	High Museum of Art (ハイ美術館/アメリカ)	平成22年8月7日—平成23年1月9日
彫刻等	山崎朝雲	牧童	1-G-36	岡倉天心と日本彫刻会	小平市平櫛田中彫刻美術館	平成22年9月10日—10月17日
彫刻等	山崎朝雲	山崎朝雲 明の封冊(豊太閤)	1-G-38	—日本彫刻の「伝統」と「革新」	井原市立田中美術館	平成22年10月22日—12月5日
油彩等	三岸好太郎	海と射光	2-A-40	日本近代洋画と三岸好太郎 Part2	北海道立三岸好太郎美術館	平成22年9月11日—10月24日
日本画	阿部春峰	静寂	1-B-144	炭坑王の邸内を彩った画家 水上泰生と阿部春峰展	飯塚市歴史資料館	平成22年9月16日—9月27日
日本画	吉村忠夫	霊剣	1-B-83	神々のすがた—古事記と近代美術—	島根県立石見美術館	平成22年9月17日—11月7日
水彩	青木 繁	「黄泉比良坂」習作	7-C-1			
素描	青木 繁	「黄泉比良坂」習作	7-D-1			
日本画	横山大観	寒山拾得	2-B-7	横山大観	明治神宮文化館宝物展示室	平成22年10月2日—11月28日
日本画	横山大観	矢走の朝	7-B-54	—明治神宮鎮座九十年記念展—		

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
日本画	堅山南風	雅日	1-B-77	堅山南風展—没後30年—	茨城県天心記念五浦美術館	平成22年10月16日—11月28日
日本画	堅山南風	日和つづき	1-B-119			
日本画	堅山南風	新涼の客	1-B-182			
油彩等	小川蓮太郎	シャルトル逆光	1-A-583	エコール・ド・レン展30年の歩み	福岡市美術館特別展示室B	平成22年11月9日—11月14日
油彩等	麻生三郎	大きい手	2-A-11	麻生三郎展	東京国立近代美術館 京都国立近代美術館 愛知県美術館	平成22年11月9日—12月19日 平成23年1月5日—2月20日 平成23年4月29日—6月12日
油彩等	青木 繁	秋声	1-A-288	青木繁展	石橋財団石橋美術館	平成23年3月25日—5月15日
水彩等	青木 繁	「黄泉比良坂」習作	7-C-1	—よみがえる神話と美術／没後100年—	京都国立近代美術館	平成23年5月27日—7月10日
素描	青木 繁	「黄泉比良坂」習作	7-D-1		石橋財団ブリヂストン美術館	平成23年7月17日—9月4日

■古美術

種別	作品名	作者名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
書跡	重文 清拙正澄墨蹟 (与元中別称偈)	清拙正澄	6-I-6	対外交流史5「茶西と中世博多展」	福岡市博物館	平成22年9月11日—10月31日
書跡	石室善玖墨蹟	石室善玖	6-I-9			
陶磁器	重文 壺形土器	壱岐唐神出土	6-Ha-36	ふるさと里帰り展	壱岐市立一支国博物館	平成22年7月9日—9月20日
絵画	百流之絵鑑	狩野昌運	4-B-172	花鳥画—中国・韓国と日本—	奈良県立美術館	平成22年9月28日—11月14日
絵画	茄子双鳥図	伝・申師任堂	14-B-15			
陶磁器	色絵唐花文大壺	有田焼 柿右衛門様式	14-Ha-32	珠玉の九州陶磁展	佐賀県立九州陶磁文化館	平成22年10月2日—11月14日
陶磁器	色絵花鳥文大蓋物	有田焼 柿右衛門様式	14-Ha-92	—やきもの王国九州の魅力を伝える—		
陶磁器	色絵花鳥文瓢形瓶	有田焼	14-Ha-106			
陶磁器	鍋島染付桃果文大皿	有田焼 鍋島様式	14-Ha-118			
陶磁器	斑釉透文手付台鉢	高取焼(内ヶ磯窯)	14-Ha-138			
書跡	重美 六家抄	細川藤孝	4-I-32	細川幽斎展	熊本県立美術館	平成22年10月6日—12月19日
書跡	重美 新古今集聞書	細川藤孝	4-I-33	—没後四〇〇年・古今伝授の間修復記念—		
絵画	重美 布袋見聞鶏図	宮本武蔵	6-B-29	岡山美の回廊	岡山県立美術館	平成22年10月8日—11月7日
絵画	磯千鳥図屏風	土佐光起	4-B-99	黄金美術	ふくやま美術館	平成22年10月9日—11月28日
その他	法螺貝(北条白貝)		4-Hf-172	秀吉への挑戦	大阪城天守閣	平成22年10月9日—11月14日
陶磁器	印花菊文四方皿	高取焼(小石原鼓窯)	14-Ha-49	郷土の美術をみる・しる・まなぶvol.2 小石原焼と小鹿田焼 いとおいしいやきものたち	福岡県立美術館	平成22年10月9日—11月28日
陶磁器	織部木菴香炉		6-Ha-49	桃山時代の価値観	土岐市美濃陶磁歴史館	平成23年2月26日—5月8日
陶磁器	織部沓茶碗 銘「浜千鳥」		6-Ha-71	—九州諸窯の成立と美濃—		
陶磁器	志野矢筈口水指 銘「末広」		6-Ha-95			
陶磁器	藁灰釉木の葉形向付	高取焼(白旗山窯)	14-Ha-152			
陶磁器	斑釉透文手付台鉢	高取焼(内ヶ磯窯)	14-Ha-138			
絵画	扇あげ図	仙厓義梵	9-B-33	江戸の人物画—姿の美、力、奇	府中市美術館	平成23年3月19日—5月8日
絵画	指月布袋図	仙厓義梵	9-B-39			
絵画	髑髏図	仙厓義梵	9-B-43			

展示室

平成22年

※観覧料の記載のないものは無料。

▶第94回二科展

4月6日(火)～4月11日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般800円、高・大生500円、小・中生無料。
日数＝6日／観覧者数＝8,856人
絵画・彫刻・デザイン・写真約600点を展示。

▶第77回独立展

4月13日(火)～4月18日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料。
日数＝6日／観覧者数＝1,501人
会員および受賞者並びに地元福岡と佐賀県・山口県・長崎県の入選者の平面作品145点を展示。

▶NHK文化センター 楽しい水彩画教室展

4月13日(火)～4月18日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝814人
水彩画33点を展示。

▶平成21年度日本習字伊都の里研修所作品展

4月13日(火)～4月18日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝663人
書作品108点を展示。

▶蘆洲会書展

4月13日(火)～4月18日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝786人
テーマ(樹)を主とした書作品150点を展示。

▶ぶらり筆ペンの会作品展

4月13日(火)～4月18日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,172人
筆ペン画64点を展示。

▶第41回日展

4月24日(土)～5月16日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般1,100円、高・大生700円、小・中生無料。
日数＝20日／観覧者数＝27,072人
日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門。全国巡回および九州・山口・沖縄の地元出品作品をあわせ約450点を展示。

▶鈍行会

5月18日(火)～5月23日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝734人
油彩画、水彩画、版画等約24点を展示。

▶現代水墨 雅象会展

5月18日(火)～5月23日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,127人
水墨画43点を展示。

▶アトリエ エトルリア合同展

5月18日(火)～5月23日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,416人
彫金111点、銅クラフト24点、スタンドグラス186点を展示。

▶'10 洋画グループ虹の会&ドリーム展

5月18日(火)～5月23日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,117人
油絵82点、水彩画5点を展示。

▶第11回写真会“弥生”写真展

5月18日(火)～5月23日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,145人
写真作品57点を展示。

▶山田依子個展(土アダムシリーズ)

5月25日(火)～5月30日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,280人
彩画34点を展示。

▶第18回翠峰会展

5月25日(火)～5月30日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝647人
書40点、水墨画20点、写真12点を展示。

▶第28回グループわらべ展

5月25日(火)～5月30日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,182人
水彩画70点を展示。

▶第15回日本原色押花合同展

5月25日(火)～5月30日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,146人
押花作品約200点を展示。

▶一字の書

5月25日(火)～5月30日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,022人
書作品40点を展示。

▶日本画三人展

6月1日(火)～6月6日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,228人
日本画約31点を展示。

▶第6回はじめての日本画展

6月1日(火)～6月6日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,438人
日本画35点、夏扇子21点を展示。

▶第28回九友会絵画展

6月1日(火)～6月6日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,109人
日本画、水墨画、水彩画、版画、CG、油絵86点を展示。

▶初夏のPATCHワークキルト展

6月1日(火)～6月6日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,219人
ベッドカバー、タペストリー、バック等100点を展示。

▶八頭司節子油彩展

6月1日(火)～6月6日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,391人
油彩画約33点を展示。

▶慎思会展

6月8日(火)～6月13日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,050人
書作品115点を展示。

▶第12回新作品展

6月8日(火)～6月13日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝804人
能面37点を展示。

▶信陶房白石陶芸教室作品展

6月8日(火)～6月13日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝712人
ランプ、壺、花器、組皿、組鉢、茶器、日用雑器約157点を展示。

▶西日本写真協会博多支部 第8回金曜会写真展

6月8日(火)～6月13日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝923人
写真作品41点を展示。

▶田崎水彩画教室展

6月8日(火)～6月13日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,430人
水彩画150点を展示。

▶人間展—芸術の価値を問う—

6月15日(火)～6月20日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝935人
ミックスメディア、石彫、彫刻作品50点を展示。

▶福岡女学院大学 生涯学習センター

写真講座受講生写真展「九州の風」
6月15日(火)～6月20日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,143人
風景・動物・花・スナップ等、全紙435mm×540mmのカラー写真43点を展示。

▶第7回昭和フォト・サークル作品展

6月15日(火)～6月20日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,009人
写真作品約40点を展示。

▶フォト悠々会写真展

6月15日(火)～6月20日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝866人
写真作品48点を展示。

▶第4回九州一先会会員展

6月15日(火)～6月20日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝943人
書作品71点を展示。

▶大島洋研究室展 思考する眼

6月22日(火)～6月27日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,042人
写真作品200点を展示。

▶おもしろ漫画川柳・人形展

6月22日(火)～6月27日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,101人
川柳色紙100点、巻絵1点、紙粘土2点、絵3点、陶芸105点を展示。

▶中山塾写真展

6月22日(火)～6月27日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=904人
写真作品42点を展示。

▶第4回福岡支部展“北政じゅうたん・ダネラアートの世界”

6月22日(火)～6月27日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,073人
アクセント・ラグ、タペストリー、玄関マット32点を展示。

▶和田木彫生徒作品展

6月22日(火)～6月27日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,788人
木彫作品約200点を展示。

▶2010玄展

6月29日(火)～7月4日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,769人
彫刻22点、洋画10点、日本画3点を展示。

▶七月展

6月29日(火)～7月4日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=440人
写真(額装・水張り・パネル)30点を展示。

▶皓華会書作展

6月29日(火)～7月4日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=569人
書作品110点を展示。

▶PEN ART 藤川秀満展

6月29日(火)～7月4日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=628人
ペン画25点を展示。

▶突展2010

6月29日(火)～7月4日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=865人
彫塑、絵画、デザイン、オブジェ、版画、写真、イラストレーション作品約60点を展示。

▶第20回わだち展

7月6日(火)～7月11日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,571人
油絵、水彩画34点を展示。

▶Fukuoka photo collection 2010

7月6日(火)～7月11日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=763人
ポートレート・スナップ等140点を展示。

▶舟美会

7月6日(火)～7月11日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=919人
油彩画44点を展示。

▶第50回西日本フォトコンテスト入賞作品展

7月6日(火)～7月11日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=951人
写真作品122点を展示。

▶竜馬が行く風景展

7月6日(火)～7月11日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=881人
水彩画、デッサン50点を展示。

▶平成22年景柳会書作展

7月13日(火)～7月19日(月・祝)
特別展示室B
日数=7日/観覧者数=2,765人
書、硬筆のアート、水墨画約100点を展示。

▶安重宣開運氣書画展

7月13日(火)～7月19日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数=7日/観覧者数=518人
古代筆で描く墨書画約100点を展示。

▶九州産業大学百瀬ゼミナール写真展

「From Island」
7月13日(火)～7月19日(月・祝)
市民ギャラリーB・C
日数=7日/観覧者数=888人
写真作品約200点を展示。

▶堺正人油絵展

7月13日(火)～7月19日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数=7日/観覧者数=786人
油絵47点を展示。

▶第24回工芸美術知新会展

7月21日(水)～7月25日(日)
特別展示室B
日数=5日/観覧者数=811人
陶磁器41点、染織16点、人形3点、皮作品1点を展示

▶クロスステッチ刺繍展

7月21日(水)～7月25日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日/観覧者数=880人
クロスステッチ刺繍64点を展示。

▶火曜日の仲間展

7月21日(水)～7月25日(日)
市民ギャラリーB
日数=5日/観覧者数=978人
油彩画26点を展示。

▶七隈カルチャーセンター近藤み絵画教室展

7月21日(水)～7月25日(日)
市民ギャラリーC
日数=5日/観覧者数=1,027人
絵画78点を展示。

▶第6回水彩画加呂教室作品展

7月21日(水)～7月25日(日)
市民ギャラリーD
日数=5日/観覧者数=954人
水彩画90点を展示。

▶第38回「日本の書展」九州展

7月27日(火)～8月1日(日)
特別展示室A・B
日数=6日/観覧者数=2,943人
書作品516点を展示。

▶春ノ手 秋ノ手

7月27日(火)～8月1日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=658人
書作品12点を展示。

▶グループNOW水彩画展

7月27日(火)～8月1日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=799人
水彩画56点を展示。

▶博水会展

7月27日(火)～8月1日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=887人
水彩画64点を展示。

▶心の病・心の栄養剤 障がい者合同絵画展

7月27日(火)～8月1日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=924人
絵画59点を展示。

▶第60回記念モダンアート展・福岡

8月3日(火)～8月8日(日)
特別展示室A
観覧料=一般700円、高・大生350円、小・中生無料。
日数=6日/観覧者数=1,504人
絵画81点、彫刻5点、版画17点、写真7点、デザイン14点、スペースアート7点を展示。

▶グループ青彫刻展

8月3日(火)～8月8日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=759人
彫刻31点、水彩画5点、デッサン7点を展示。

▶鄭琪満(チョンギマン)作陶展

8月3日(火)～8月8日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=435人
陶器、墨絵等約100点を展示。

▶第7回みづたまの会

8月3日(火)～8月8日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=732人
水彩画54点を展示。

▶陶芸広場赤ひーまん「生徒作品展」

8月3日(火)～8月8日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=323人
陶器作品227点を展示。

▶第27回観生会展

8月3日(火)～8月8日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=496人
書作品32点を展示。

▶福岡女学院創立125周年記念美術展

8月10日(火)～8月15日(日)
特別展示室A
日数=6日/観覧者数=2,910人
中学生・卒業生の作品(油絵、水彩画等)約900点を展示。

▶近藤えみ展

8月10日(火)～8月15日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,365人
造形絵画30点を展示。

▶第13回フォト百道浜写真展

8月10日(火)～8月15日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=714人
写真作品46点を展示。

▶第7回82AP展

8月10日(火)～8月15日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=663人
写真作品99点を展示。

▶蒼土の会(つちのかい)作品展2010

8月10日(火)～8月15日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=814人
陶芸、写真、油彩画、絵画、書作品50点を展示。

▶第4回宙(そら)の会

8月10日(火)～8月15日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=680人
油彩画、水彩画、デッサン44点を展示。

▶第63回示現会展

8月17日(火)～8月22日(日)
特別展示室A
観覧料=一般700円、高・大生400円、小・中生無料
日数=6日/観覧者数=3,653人
絵画152点を展示。

▶ぐるーぷ“街”20周年記念風景画展

8月17日(火)～8月22日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,069人
水彩画等128点を展示。

▶福岡写協会写真展「山を想うひととき」

8月17日(火)～8月22日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,373人
写真作品54点を展示。

▶第16回さくら会水彩画展

8月17日(火)～8月22日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,305人
水彩画65点を展示。

▶ポタニカルアート・創作工芸展

8月17日(火)～8月22日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,092人
植物画45点、創作粘土20点、フローラルペインティング25点を展示。

▶西南学院大学書道部創立50周年記念展

8月17日(火)～8月22日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=728人
書作品55点を展示。

▶第24回日洋展 九州会場福岡

8月24日(火)～8月29日(日)
特別展示室A
観覧料=一般800円、高・大生400円、小・中生無料。
日数=6日/観覧者数=2,772人
洋画、水彩画137点を展示。

▶(財)独立書人団 第33回福岡県支部書展

8月24日(火)～8月29日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=774人
書作品46点を展示。

▶第26回紫彩展

8月24日(火)～8月29日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=616人
油絵、水彩画、オブジェ約100点を展示。

▶第3回福岡写真研究会作品展

8月24日(火)～8月29日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=695人
写真作品47点を展示。

▶グループ テオ展

8月24日(火)～8月29日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=627人
油彩画10点、水彩画15点、彫刻3点、デッサン5点、
版画2点、オブジェ2点、アクリル画5点、家具1点、
絵本5点、工芸4点を展示。

▶古稀記念 木下良治油絵展

8月24日(火)～8月29日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=845人
油絵等88点を展示。

▶第69回創元展 第32回創元会西日本美術展

8月31日(火)～9月5日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800円、高・大生400円、小・中生無料。
日数=6日/観覧者数=3,245人
絵画208点を展示。

▶第42回青像グループ写真展～50周年記念

8月31日(火)～9月5日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=665人
写真作品46点を展示。

▶あそび～4人が撮る～写真展

8月31日(火)～9月5日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=543人
写真作品213点を展示。

▶第38回福岡教育大学書道科福岡県人書作展

8月31日(火)～9月5日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=496人
書作品21点を展示。

▶2010日中韓障害者芸術交流展

8月31日(火)～9月5日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=867人
絵画、書道、写真作品約100点を展示。

▶第106回太平洋展 第45回記念西日本展

9月7日(火)～9月12日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800円、高・大生600円、小・中生無料。
日数=6日/観覧者数=4,376人
巡回分(絵画121点、版画32点、染織53点、彫刻12
点)、その他公募分82点、合計300点を展示。

▶第22回サムホール公募展

9月7日(火)～9月12日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=2,601人
油絵、水彩画375点を展示。

▶「福岡よかよか倶楽部」会員写真展

9月7日(火)～9月12日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=831人
写真作品52点を展示。

▶彩の会水彩画展

9月7日(火)～9月12日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,247人
水彩画60点を展示。

▶青柳疎石米寿展 第4回青二書道会福岡支部展

9月7日(火)～9月12日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=905人
書作品約40点を展示。

▶西部朝日書道展 九州・山口・沖縄代表書作家展

9月14日(火)～9月20日(月・祝)
特別展示室A
日数=7日/観覧者数=1,328人
九州・沖縄・山口を代表する書作家の書作品80点を
展示。

▶田辺幹夫アート展

9月14日(火)～9月20日(月・祝)
特別展示室B
日数=7日/観覧者数=1,203人
グラフィックアート250点を展示。

▶第19回日本原色押花文化協会～花筏～

9月14日(火)～9月20日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数=7日/観覧者数=845人
押花約100点を展示。

▶第40回世界児童画展 福岡・佐賀展

9月14日(火)～9月20日(月・祝)
市民ギャラリーB・C
日数=7日/観覧者数=2,215人
水彩画、クレヨン画等557点を展示。

▶風2010合同写真展

9月14日(火)～9月20日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数=7日/観覧者数=1,126人
写真作品65点を展示。

▶第40回福岡市高齢者美術展

9月22日(水)～9月26日(日)
特別展示室A
日数=5日/観覧者数=1,379人
洋画、日本画、書、写真、工芸約188点を展示。

▶福岡大学書道部創立50周年記念書道展

9月22日(水)～9月26日(日)
特別展示室B
日数=5日/観覧者数=685人
書、水墨画52点を展示。

▶整(いしだたみ)の会

9月22日(水)～9月26日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日/観覧者数=1,041人
ペーパー・スクリーン版画約60点を展示。

▶若菜会かな書展

9月22日(水)～9月26日(日)
市民ギャラリーB
日数=5日/観覧者数=938人
絵、書作品81点を展示。

▶グループ季楽水彩画展

9月22日(水)～9月26日(日)
市民ギャラリーC
日数=5日/観覧者数=1,457人
水彩画76点を展示。

▶野口正幸絵画教室合同生徒作品展

9月22日(水)～9月26日(日)
市民ギャラリーD
日数=5日/観覧者数=1,351人
水彩画、油彩画65点を展示。

▶第27回読売書法展九州展

9月30日(木)～10月3日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料=一般500円、大学生以下無料。
日数=4日/観覧者数=4,686人
書作品3,075点を展示。

▶第62回毎日書道展九州展

10月5日(火)～10月11日(月・祝)
特別展示室A・B
観覧料=一般500円、大学生以下無料。
日数=7日/観覧者数=5,308人
書作品1,055点を展示。

▶ティッシュペーパーアートみずのかつひこ

第7回こより画展
10月5日(火)～10月11日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数=7日/観覧者数=720人
ティッシュペーパーアート55点を展示。

▶第14回九州由源書展

10月5日(火)～10月11日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数=7日/観覧者数=905人
書作品58点を展示。

▶第17回書道研究温知会福岡地区支部連合会書作展

10月5日(火)～10月11日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数=7日/観覧者数=1,026人
書作品51点を展示。

▶木ノ下淳一との会作品展

10月5日(火)～10月11日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数=7日/観覧者数=956人
水彩画、デッサン、色鉛筆画等56点を展示。

▶第9回N548展九州産業大学芸術学部芸術学科
坂井忠臣研究室卒業生展

10月13日(水)～10月17日(日)
特別展示室B
日数=5日/観覧者数=424人
油彩画、版画等約30点を展示。

▶UNE(ユヌ)展

10月13日(水)～10月17日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日/観覧者数=706人
油絵、水彩画約40点を展示。

▶第11回彩展

10月13日(水)～10月17日(日)
市民ギャラリーB
日数=5日/観覧者数=859人
油彩画、水彩画約30点を展示。

▶第42回玄霜会日本画展

10月13日(水)～10月17日(日)
市民ギャラリーC
日数=5日/観覧者数=918人
日本画約40点を展示。

▶第10回白鷗書道会選抜展

10月13日(水)～10月17日(日)
市民ギャラリーD
日数=5日/観覧者数=816人
書作品約100点を展示。

▶第14回武蔵野美術大学校友会福岡支部展2010

10月19日(火)～10月24日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,263人
油彩画、水彩画、日本画、アクリル画、彫刻、木工、彫金、版画、
テキスタイル、インスタレーション、陶磁器約90点を展示。

▶子じか会健脳リハビリ作品展

10月19日(火)～10月24日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=843人
壁画、水彩画、手工芸品等124点を展示。

▶第11回ラ・ピタ会イゼル会合同絵画展

10月19日(火)～10月24日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=627人
絵画57点を展示。

▶横手敏雄・橋本弘之 水墨画二人展

10月19日(火)～10月24日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=861人
水墨画、墨彩画54点を展示。

▶牧野水墨画作品展

10月19日(火)～10月24日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=874人
水墨画52点を展示。

▶尾花剛展

10月26日(火)～10月31日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,755人
水彩画、アクリルグワッシュ画31点を展示。

▶第31回福岡きりえ展

10月26日(火)～10月31日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,079人
きりえ作品58点を展示。

▶第26回城南区市民アート展

10月26日(火)～10月31日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,316人
絵画、グラフィックデザイン、書、写真、工芸185点を展示。

▶第15回健筆会書作展

10月26日(火)～10月31日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=766人
書作品48点を展示。

▶中尾哲彰作陶展

11月2日(火)～11月7日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,054人
オブジェ、花瓶、壺、茶碗道具、生活用具約100点を展示。

▶福岡文化連盟美術展2010

11月2日(火)～11月7日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数=6日/観覧者数=831人
洋画、日本画、写真、彫刻、書、工芸、アートフラワー、押し
花、手芸、創作人形、陶芸、創作ビーズ等141点を展示。

▶第16回学校飼育動物スケッチコンクール

11月2日(火)～11月7日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=915人
市内市立の小学校・幼稚園等から応募された絵画の
うち受賞作品42点を展示。

▶エコール・ド・レン展 30年の歩み

11月9日(火)～11月14日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=3,645人
絵画(油絵・水彩画・日本画)83点、写真6点、染色1
点、陶人形4点を展示。

▶第17回サザンクロス写真展「造」

11月9日(火)～11月14日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=704人
写真作品49点を展示。

▶第31回中央区市民文化祭美術作品展

11月9日(火)～11月14日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,080人
一般の部(洋画29点、日本画12点、書16点、写真36点、手工芸16点)、小・中学生の部(絵画247点、書道350点)の作品を展示。

▶修猷三五会作品展

11月9日(火)～11月14日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=846人
絵画、書、木工、写真作品等108点を展示。

▶第15回福岡市美術連盟会員展

11月16日(火)～11月21日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C・D
日数=6日/観覧者数=4,914人
日本画、油絵、グラフィックデザイン、ノンセクション、彫刻、工芸、写真170点を展示。

▶第42回九州かな書道協会展

11月23日(火)～11月28日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C・D
日数=6日/観覧者数=2,127人
書作品336点を展示。

▶平島正敏風景画「地中海のきらめき」

11月30日(火)～12月5日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,310人
油絵風景画58点を展示。

▶福岡コアサイド・アート美術展2010(平成22年度福岡市障がい者(児)美術展)

11月30日(火)～12月5日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数=6日/観覧者数=1,167人
書道、絵画、陶芸、写真422点を展示。

▶第53回福岡県医師会文化祭美術展

11月30日(火)～12月5日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=882人
絵画18点、写真12点、書1点、工芸2点を展示。

▶第13回謙慎書道会九州・沖縄展

12月7日(火)～12月12日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,265人
書作品177点を展示。

▶第30回南区美術展

12月7日(火)～12月12日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数=6日/観覧者数=941人
絵画56点、彫刻6点、書61点、工芸29点、写真39点を展示。

▶裕竹会書展

12月7日(火)～12月12日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,227人
書作品67点を展示。

▶平寛 絵画作品展 -Losing Blue-

12月14日(火)～12月19日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,544人
テンペラ画約90点を展示。

▶第10回ロータリー・ジュニア美術展

12月14日(火)～12月19日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=569人
水彩画、パステル画、鉛筆画等151点を展示。

▶第6回賛華会写真展

12月14日(火)～12月19日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=614人
写真作品40点を展示。

▶牛歩の会絵画展

12月14日(火)～12月19日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=655人
水彩画53点、油彩画16点を展示。

▶第33回福岡市退職小学校長会作品展

12月14日(火)～12月19日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=895人
絵画16点、書17点、工芸27点、写真15点を展示。

▶日韓中アーティスト8人展&制作パフォーマンス

12月21日(火)～12月26日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,311人
木版画(韓国16点、日本10点、中国2点)合計28点を展示。

▶西島徹作品展「鉄の人体デッサンとオブジェ+α」

12月21日(火)～12月26日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=353人
オブジェ、Tシャツ、彫刻21点を展示。

▶西日本写真協会福岡支部「フォトニ水会」第14回作品展

12月21日(火)～12月26日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=936人
写真作品41点を展示。

▶七曜舎

12月21日(火)～12月26日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=846人
ヌードデッサン61点を展示。

▶第5回形象展

12月21日(火)～12月26日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=743人
油彩画、テンペラ画、水彩画約44点を展示。

平成23年

▶九輝展

1月5日(水)～1月10日(月・祝)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=8,719人
洋画26点、日本画5点、押花9点、写真9点、能面4点、染色1点、工芸3点を展示。

▶第59回福岡県小学校児童画展

1月5日(水)～1月10日(月・祝)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数=6日/観覧者数=6,023人
福岡県下の特選入賞児童の作品834点を展示。

▶西日本新聞書道之友展2010

1月12日(水)～1月16日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C・D
日数=5日/観覧者数=3,757人
書作品1,100点を展示。

▶第36回西日本書美術展

1月18日(火)～1月23日(日)
特別展示室A・B
日数=6日/観覧者数=3,228人
書作品949点を展示。

▶第3回長生園ひな人形作品展

1月18日(火)～1月23日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,224人
創作博多人形等117点を展示。

▶第59回福岡市中学校書作品展

1月18日(火)～1月23日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,660人
書作品960点を展示。

▶第18回蒼龍会書作展

1月18日(火)～1月23日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,326人
書作品約170点を展示。

▶行動展

1月25日(火)～1月30日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800円、高・大生600円、小・中生無料。
日数=6日/観覧者数=1,597人
油絵、彫刻約200点を展示。

▶手織り遊び展

1月25日(火)～1月30日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=678人
タペストリー、のれん等70点を展示。

▶阿部直昭絵画塾作品展 彩友会

1月25日(火)～1月30日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,278人
油絵125点を展示。

▶第54回西日本読書感想画コンクール優秀作品展

1月25日(火)～1月30日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,350人
九州・山口各県の小学生～高校生を対象とした感想画上位入賞77点を展示。

▶第64回二紀展

2月1日(火)～2月6日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般700円、高・大生700円、小・中生無料。
日数=6日/観覧者数=3,109人
絵画107点、彫刻19点を展示。

▶土陽の会

2月1日(火)～2月6日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,086人
油絵60点を展示。

▶**ファインアート展福岡市中学校合同作品展**

2月1日(火)～2月6日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,082人
版画、書、木工、革細工、布製品、紙ねんど作品、ピース作品、タイル作品等を48中学校から約1,000点を展示。

▶**日本水彩久留米支部小品展**

2月1日(火)～2月6日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,479人
水彩画、アクリル画49点を展示。

▶**第78回独立展**

2月8日(火)～2月13日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800円、高・大生600円、小・中生無料。
日数=6日/観覧者数=1,686人
平面(絵画)作品145点を展示。

▶**第60回福岡市中学校美術展**

2月8日(火)～2月13日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数=6日/観覧者数=4,804人
絵画、彫刻、陶芸、立体作品等3,000点を展示。

▶**第95回記念二科展**

2月15日(火)～2月20日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料=一般800円、高・大生500円、小・中生無料。
日数=6日/観覧者数=8,023人
絵画、彫刻、デザイン、写真約600点を展示。

▶**第24回蘭亭書道展**

3月8日(火)～3月13日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,399人
書作品約2,500点を展示。

▶**福岡市書道協会展**

3月8日(火)～3月13日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数=6日/観覧者数=1,828人
書作品247点を展示。

▶**第10回福岡市東区美術協会会員展**

3月15日(火)～3月21日(月・祝)
特別展示室B
日数=7日/観覧者数=1,028人
日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真50点を展示。

▶**ふる里Ⅱー昭和の記憶ー**

3月15日(火)～3月21日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数=7日/観覧者数=780人
写真作品39点を展示。

▶**山田秀一展**

3月15日(火)～3月21日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数=7日/観覧者数=396人
鉛筆画約60点を展示。

▶**水の会かな書展**

3月15日(火)～3月21日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数=7日/観覧者数=505人
書作品約50点を展示。

▶**第6回はがき絵加呂教室作品展**

3月15日(火)～3月21日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数=7日/観覧者数=700人
はがき絵(主に水彩)98点を展示。

▶**第25回那乃津書道会展**

3月23日(水)～3月27日(日)
特別展示室B
日数=5日/観覧者数=1,505人
書作品(額装、卷子、屏風等)71点を展示。

▶**グループひまわり展**

3月23日(水)～3月27日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日/観覧者数=715人
油彩画54点を展示。

▶**グループ「ももの樹」作品展**

3月23日(水)～3月27日(日)
市民ギャラリーB
日数=5日/観覧者数=593人
水彩画67点を展示。

▶**日本書芸教育会書作品展**

3月23日(水)～3月27日(日)
市民ギャラリーC
日数=5日/観覧者数=1,062人
書作品86点を展示。

▶**中村江月書展、会員展**

3月23日(水)～3月27日(日)
市民ギャラリーD
日数=5日/観覧者数=773人
書作品51点を展示。

▶**江源展「二千二百年の対話」**

3月29日(火)～4月3日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,931人
金屏風作品6曲4双、円形作品10点を展示。

▶**ふしぎな花倶楽部・押花作品展**

3月29日(火)～4月3日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=926人
押花作品74点を展示。

▶**パリ・アンティークビーズ刺しゅう作品展**

3月29日(火)～4月3日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=983人
額、タペストリー、屏風、羽子板、小袖、バック等約60点を展示。

▶**アートスタジオ・アライヴ鉛筆画教室作品展**

3月29日(火)～4月3日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,099人
鉛筆画93点を展示。

▶**第12回土のちから展2011**

3月29日(火)～4月3日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,266人
陶芸作品約100点を展示。

講堂

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成22年			
福岡市美術教育研究会総会	4月14日(水)		福岡市教育委員会学校指導課	75
「第41回日展」ワークショップ	5月5日(水)		西日本新聞社事業局事業部	—
福岡市小学校図画工作教育研究会平成22年度総会 講演会「子どもの居場所づくり」	6月12日(土)	ラワンチャクイン寿子 (福岡アジア美術館学芸員)	福岡市小学校図画工作教育研究会	57
文化財を通して楽しむ日韓交流 特別講演「江原道の歴史遺産と九州」	6月19日(土)		韓国観光公社	180
二科会写真部福岡支部公募展公開審査	7月11日(日)		二科会写真部福岡支部	180
第33回九州色彩教育講習会 特別講演「絵本による色の学習法」	8月3日(火)	名取和幸	色彩教育研究会、(財)日本色彩研究所	120
「福岡女学院創立125周年記念美術展」記念講演 「見るということ」、「美感と創新」	8月14日(土)	佐藤一郎(東京芸術大学教授) 林曼麗(台北教育大学教授)	学校法人福岡女学院	180
日洋会講演会「伝統と現代」	8月24日(火)	日野耕之祐(日洋会会長)	日洋会福岡	60
「第40回福岡市高齢者美術展」入賞者表彰式	9月24日(金)		福岡市老人クラブ連合会	—
「第27回読売書法展九州展」親子書道教室 講演「夢は人を磨き育てる」	10月2日(土)	茅原南龍(読売書法会理事)	読売新聞社、読売書法会	138
平成22年度国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程研究指定校研究発表会	10月8日(金)		福岡市立南当仁小学校	122
第5回NHK福岡俳句ウォーク大会記念講演	10月11日(月)	枝見浩史	NHK福岡放送局、NHK福岡文化センター、福岡 県俳句協会	130
創元会福岡支部総会	10月24日(日)		創元会福岡支部	46
シャガール展関連講演会	10月24日(日)		クラブツーリズム九州旅行センター	—
「第26回城南区市民アート展」表彰式	10月31日(日)		ふれあい城南運営委員会、城南区役所	—
シャガール展関連講演会	11月3日(水・祝)		クラブツーリズム九州旅行センター	—
「第16回学校飼育動物スケッチコンクール」表彰式	11月7日(日)		福岡市獣医師会	250
亀山郁夫トークショー「黙過する(神)」	11月14日(日)	亀山郁夫(東京外国語大学長)	ブックオカ実行委員会、光文社	150
福岡市美術連盟講演会「炎の魔力」	11月20日(土)	中島 宏(陶芸家)	福岡市美術連盟	200
福岡シネマフェスティバル2010	11月20日(土)		福岡シネマフェスティバル実行委員会	14
	11月21日(日)			21
福岡コピーライターズクラブ公開審査	12月10日(金)		福岡コピーライターズクラブ	200
	12月11日(土)			
福岡コアサイドアート美術展2010表彰式	12月4日(土)		福岡市障がい者(児)美術展実行委員会	70
	12月5日(日)			
「第30回南区美術展」表彰式	12月12日(日)		南区市民の祭り運営委員会、南区美術協会、南区役所	60
	平成23年			
「第59回福岡県小学校児童画展」表彰式	1月5日(水)		福岡県小学校図画工作教育研究会	160
「西日本新聞書道之友展2010」表彰式	1月16日(日)		西日本新聞社、西日本新聞書道会	100
「第17回福岡市書道協会展」総会、講演会	3月13日(日)		福岡市書道協会	150
文化財を通して楽しむ日韓交流 特別講演「韓国・南道と九州～那馬台国への道～」	3月19日(土)	西谷 正(九州歴史資料館長、 伊都国歴史博物館名誉館長、 九州大学名誉教授)	文化財を通して楽しむ日韓交流実行委員会	174

(講師敬称略)

教養講座室

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成22年			
二科会デザイン部九州地区会議	4月11日(日)		二科会デザイン部	21
フジクロームクラブjp福岡 作品講評会	4月16日(金)		フジクロームクラブjp福岡	25

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
「第41回日展」ワークショップ	4月25日(日)		西日本新聞社事業局	15
「第41回日展」ワークショップ	4月29日(木)		西日本新聞社事業局	15
福岡市中学校美術部顧問者会	4月30日(金)		福岡市中学校美術教育研究会	38
福岡市中学校美術教育研究会 打合せ会	5月12日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	—
福岡市美術連盟総会	5月16日(日)		福岡市美術連盟	69
武蔵野美術大学校友会福岡支部総会	5月16日(日)		武蔵野美術大学校友会福岡支部	20
游会 デッサン勉強会	5月20日(木)		游会	10
フジクロームクラブjp福岡 作品講評会	5月28日(金)		フジクロームクラブjp福岡	20
福岡市中学校美術教育研究会拡大常任委員会	6月9日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	17
NHK文化センター展覧会鑑賞ツアー	6月17日(木)		NHK文化センター(熊本)	35
日本・東洋美術名品展俳句会	7月11日(日)		菜殻火俳句会	22
「第24回日洋展」福岡巡回展打合せ会議	7月16日(金)		日洋会福岡	12
近世美術研究会	7月17日(土)		福岡市美術館、近世美術研究会	16
「第24回日洋展」福岡巡回展打合せ会議	7月24日(土)		日洋会福岡	11
「第24回工芸美術知新会展」授賞式	7月25日(日)		工芸美術知新会	30
「第106回太平洋展・第45回記念西日本展」準備総会	8月1日(日)		太平洋美術会西日本支部	76
第33回九州色彩教育講習会 ワークショップ1	8月3日(火)	日高幸子	色彩教育研究会、(財)日本色彩研究所	65
図画工作科研修	8月6日(金)		福岡市立有田小学校	
福岡市中学校美術教育研究会一斉研修指導案審議	8月18日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	5
福岡二紀フレンズ教養講座	8月29日(日)		福岡二紀会	60
「第106回太平洋展・第45回記念西日本展」授賞式	9月7日(火)		太平洋美術会西日本支部	60
第2回福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	9月8日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	11
福岡市小学校図画工作教育研究会 9月例会	9月11日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	41
福岡市中学校美術教育研究会美術部顧問者会	9月15日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	25
EOS学園地域別講座(福岡)	9月18日(土)		キャノンマーケティングジャパン(株)	55
早良区施設見学会	9月24日(金)		早良区地域振興課	22
福岡県中学校美術教育研究会役員会他	9月24日(金)		福岡県中学校美術教育研究会	30
太平洋美術会役員会	9月26日(日)		太平洋美術会西日本支部	22
[第27回読売書法展九州展]展示指導全体会議	9月29日(水)		読売新聞社、読売書法会	24
「第27回読売書法展九州展」親子書道教室	10月2日(土)	大橋永佳(読売書法会理事)	読売新聞社、読売書法会	138
講座「書道で脳トレ!」				
わいわいクラブ作品講評会	10月9日(土)		わいわいクラブ	18
第5回NHK福岡俳句ウォーク大会	10月11日(月)		NHK福岡放送局、NHK福岡文化センター、福岡県俳句協会	130
福岡市小学校図画工作教育研究会 10月例会	10月16日(土)	加藤慎一郎(株式会社チクモク代表取締役社長)	福岡市小学校図画工作教育研究会	44
講演「木育を考える」				
「第31回中央区市民文化祭美術作品展」作品搬入・審査	10月17日(日)		中央区市民の祭り運営委員会	5
	10月18日(月)			6
	10月19日(火)			6
わいわいクラブ作品講評会	10月22日(金)		わいわいクラブ	18
紀里谷和明ワークショップ	10月23日(土)	紀里谷和明 (映像クリエイター・映画監督)	KKWS@九州	80
「第26回城南区市民アート展」作品搬入・設営作業	10月24日(日)		ふれあい城南運営委員会、城南区役所	120
	10月25日(月)			12
「第26回城南区市民アート展」表彰式控室	10月31日(日)		ふれあい城南運営委員会、城南区役所	15
福岡茶道文化連盟各流合同茶会	11月2日(火)		福岡茶道文化連盟	—
	11月3日(水)			—
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	11月10日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	—
福岡市小学校図画工作教育研究会 11月例会	11月13日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	31
「第31回中央市民文化祭美術作品展」表彰式	11月14日(日)		中央区市民の祭り運営委員会、中央区役所	—

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
わいわいクラブ作品講評会	11月19日(金)		わいわいクラブ	15
福岡シネマフェスティバル2010	11月20日(土)		福岡シネマフェスティバル実行委員会	14
CAPA&キャノンEOSデジタルフォトゼミナール	11月27日(土)		(株)学研パブリッシングCAPA編集部	40
	11月28日(日)			
福岡市小学校図画工作教育研究会 12月例会	12月4日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	36
福岡コピーライターズクラブ公開審査	12月10日(金)		福岡コピーライターズクラブ	200
	12月11日(土)			
福岡市中学校美術教育研究会	12月15日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	9
わいわいクラブ作品講評会	12月17日(金)		わいわいクラブ	12
太平洋美術会西日本支部 平成22年絵画部総会	12月18日(土)		太平洋美術会西日本支部絵画部	32
「第10回福岡ロータリージュニア美術展」表彰式	12月19日(日)		福岡中央ロータリークラブ	60
	平成23年			
「第59回福岡県小学校児童画展」表彰式	1月5日(水)		福岡県小学校図画工作教育研究会	20
彩舟会 水彩画描き初め会	1月8日(土)		彩舟会	30
福岡市中学校美術教育研究会部会	1月19日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	7
福岡市小学校図画工作教育研究会 1月例会	1月22日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	39
太平洋美術会西日本支部総会	1月23日(日)		太平洋美術会西日本支部	69
創元会福岡支部研究会	2月5日(土)		創元会福岡支部	54
わいわいクラブ作品講評会	2月10日(木)		わいわいクラブ	18
福岡市小学校図画工作教育研究会 2月例会	2月11日(金)		福岡市小学校図画工作教育研究会	54
二科会デザイン部九州委員会友会議	2月20日(日)		二科会デザイン部	21
福岡県小学校図画工作教育研究会 第4回役員研修会	2月24日(木)		福岡県小学校図画工作教育研究会	20
わいわいクラブ作品講評会	2月25日(金)		わいわいクラブ	19
市民フォーラム ふるさと未来絵巻づくり 講演「命の水と土を考える」、フォーラムディスカッション 「未来のふるさとづくり」	2月27日(日)	松藤康司(福岡大学工学部教授)	知恵と文化の体験絵巻づくり実行委員会	40
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	3月2日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	12
太平洋美術会西日本支部研修会	3月12日(土)		太平洋美術会西日本支部	70
	3月13日(日)			50
福岡市中学校美術教育研究会部会	3月16日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	4
福岡県高等学校歴史研究会 第3回日本史研究会	3月24日(木)		福岡県高等学校歴史研究会	—
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	3月30日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	6

(講師敬称略)

実技講座室

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成22年			
日本の自然を描く展 友の会講座	4月3日(土)		上野の森美術館	7
	4月4日(日)			6
デッサン研修	4月7日(水)		グループ形象	3
油絵研究	4月14日(水)		モモチ油絵同好会	6
人物デッサン	4月18日(日)		デッサングループ	8
油絵研究	4月20日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研修	4月21日(水)		グループ形象	5
グルーボ グルーボ	4月22日(木)		森 信也	18
日洋会研究会	4月24日(土)		日洋会福岡	40
福岡クロッキー会4月定例会	4月25日(日)		福岡クロッキー会	7

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
「第41回日展」ワークショップ	4月29日(木)		西日本新聞社事業局	—
	5月2日(日)			—
	5月4日(火)			—
デッサン研究会	5月9日(日)		ラ・リベルテ113	11
デッサン研修	5月12日(水)		グループ形象	4
人物デッサン	5月16日(日)		平野映美	7
油絵研究	5月18日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研修	5月20日(木)		グループ形象	4
福岡クロッキー会 5月定例会	5月23日(日)		福岡クロッキー会	6
油絵研究	5月26日(水)		モモチ油絵同好会	5
福岡二紀ムービング・デッサン	5月30日(日)		福岡二紀会	24
デッサン研修	6月2日(水)		グループ形象	3
デッサン勉強会	6月6日(日)		太平洋美術会 絵画部	22
油絵研究	6月9日(水)		モモチ油絵同好会	6
デッサン勉強会	6月13日(日)		太平洋美術会 絵画部	17
油絵研究	6月16日(水)		モモチ油絵同好会	6
国展福岡展打合せ会	6月19日(土)		国展福岡展事務局	11
人物デッサン	6月20日(日)		平野映美	—
デッサン勉強会	6月20日(日)		太平洋美術会 絵画部	23
デッサン研修	6月23日(水)		グループ形象	4
グルーポ グルーポ	6月24日(木)		森 信也	20
デッサン勉強会	6月27日(日)		太平洋美術会 絵画部	28
油絵研究	7月6日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研究会	7月11日(日)		ラ・リベルテ113	11
油絵研究	7月13日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研修	7月14日(水)		グループ形象	4
人物デッサン	7月18日(日)		平野映美	10
デッサン研修	7月21日(水)		グループ形象	3
創元会福岡支部研究会	7月25日(日)		創元会福岡支部	35
デッサン研究会	8月1日(日)		ラ・リベルテ113	17
第33回九州色彩教育講習会 ワークショップ2	8月3日(火)	荒木スミ子、香月秀子	色彩教育研究会、(財)日本色彩研究所	35
デッサン研修	8月4日(水)		グループ形象	3
グルーポ グルーポ	8月5日(木)		森 信也	18
	8月6日(金)			14
デッサン研修	8月18日(水)		グループ形象	4
絵画研究会	8月24日(火)		日洋会福岡	22
	8月25日(水)			21
二紀フレンズ学習会	8月29日(日)		福岡二紀会	—
デッサン研修	9月1日(水)		グループ形象	3
福岡クロッキー会 9月定例会	9月5日(日)		福岡クロッキー会	5
油絵研究	9月8日(水)		モモチ油絵同好会	5
人物デッサン	9月12日(日)		平野映美	8
油絵研究	9月14日(火)		モモチ油絵同好会	4
デッサン研修	9月15日(水)		グループ形象	—
デッサン研究会	9月19日(日)		ラ・リベルテ113	12
福岡クロッキー会	9月20日(月)		福岡クロッキー会	10
「第27回読売書法展九州展」親子書道教室	10月2日(土)	太原蒼龍(読売書法会理事)	読売新聞社、読売書法会	138
講座「体験!書の歴史と古典」				
福岡クロッキー会 10月定例会	10月3日(日)		福岡クロッキー会	7

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
デッサン研修	10月6日(水)		グループ形象	3
油絵研究	10月7日(木)		モモチ油絵同好会	7
合同研修会 秋季デッサン大学	10月9日(土)		グループ形象	13
第5回NHK福岡俳句ウォーク大会	10月11日(月)		NHK福岡放送局、NHK福岡文化センター、 福岡県俳句協会	130
人物デッサン	10月10日(日)		平野映美	7
油絵研究	10月13日(水)		モモチ油絵同好会	7
デッサン研修	10月20日(水)		グループ形象	3
ママとこどものアートじかん 「おでかけアート講座 福岡市美術館編」	10月23日(土)	原田真紀(ママとこどものアート じかんプロジェクト)、 岩永悦子(福岡市美術館学芸員)	ママとこどものアートじかんプロジェクト	10組
第26回城南区市民アート展作品搬入	10月24日(日)		ふれあい城南運営委員会、城南区地域振興課	120
	10月25日(月)			12
	11月1日(月)			—
	11月2日(火)			—
人物デッサン	11月7日(日)		平野映美	
油絵研究	11月10日(水)		モモチ油絵同好会	6
絵画研究会	11月11日(木)		游会	15
福岡二紀ムービング・デッサン	11月14日(日)		福岡二紀会	26
油絵研究	11月16日(火)		モモチ油絵同好会	7
デッサン研修	11月17日(水)		グループ形象	3
グルーポ グルーポ	11月20日(土)		森 信也	23
福岡クロッキー会	11月21日(日)		福岡クロッキー会	10
デッサン研修	11月24日(水)		グループ形象	3
デッサン研究会	11月28日(日)		ラ・リベルテ113	15
デッサン研修	12月1日(水)		グループ形象	3
油絵研究	12月2日(木)		モモチ油絵同好会	6
福岡アジア美術館・福岡市美術館ボランティア交流会	12月4日(土)		福岡アジア美術館ボランティア	42
創元会福岡支部研究会	12月5日(日)		創元会福岡支部	31
油絵研究	12月8日(水)		モモチ油絵同好会	6
福岡コピーライターズクラブ公開審査	12月10日(金)		福岡コピーライターズクラブ	200
	12月11日(土)			
人物デッサン	12月12日(日)		平野映美	7
日本の自然を描く展 友の会講座	12月17日(金)		上野の森美術館	24
	12月18日(土)			24
福岡クロッキー会 12月定例会	12月19日(日)		福岡クロッキー会	9
デッサン研究会	12月26日(日)		ラ・リベルテ113	14
平成23年				
SHOW-GUYSステージイベント交流事業	1月7日(金)		SHOW-GUYSステージプロジェクト委員会	18
「舞台美術ってなあに」	1月8日(土)			15
福岡クロッキー会 1月定例会	1月9日(日)		福岡クロッキー会	9
油絵研究	1月12日(水)		モモチ油絵同好会	7
人物デッサン	1月16日(日)		平野映美	9
油絵研究	1月19日(水)		モモチ油絵同好会	7
デッサン研究会	1月23日(日)		ラ・リベルテ113	15
デッサン研修	1月26日(水)		グループ形象	3
デッサン研修	2月9日(水)		グループ形象	4
人物デッサン	2月13日(日)		平野映美	8
油絵研究	2月15日(火)		モモチ油絵同好会	5

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
デッサン研修	2月16日(水)		グループ形象	4
デッサン研究会	2月19日(土)		ラ・リベルテ113	15
福岡クロッキー会定例会	2月20日(日)		福岡クロッキー会	7
油絵研究	2月23日(水)		モモチ油絵同好会	5
創元会福岡支部研究会	2月27日(日)		創元会福岡支部	32
人物デッサン	3月6日(日)		平野映美	8
デッサン研修	3月9日(水)		グループ形象	4
ワンポーズデッサン	3月13日(日)		福岡二紀会	18
油絵研究	3月15日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研究会	3月16日(水)		ラ・リベルテ113	15
福岡クロッキー会3月定例会	3月21日(月)		福岡クロッキー会	8
デッサン研修	3月23日(水)		グループ形象	4
グループ グループ	3月24日(木)		森 信也	20
日本の自然を描く展 友の会講座	3月25日(金)		上野の森美術館	12
	3月26日(土)			12
油絵研究	3月30日(水)		モモチ油絵同好会	5
グループ グループ	3月31日(木)		森 信也	6

(講師敬称略)

版画印刷工房室

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成22年		
版画制作	4月7日(水)	久佐高子	3
版画制作	5月13日(木)	久佐高子	3
版画制作	6月17日(木)	久佐高子	4
版画制作	7月22日(木)	久佐高子	3
グループ グループ	7月27日(火)	森 信也	6
版画制作	8月18日(水)	久佐高子	3
版画制作	9月8日(水)	久佐高子	3
福岡市小学校図画工作教育研究会 9月例会	9月11日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	41
版画制作	10月6日(水)	久佐高子	4
版画制作	11月3日(水)	久佐高子	3
グループ グループ	12月2日(木)	森 信也	1
グループ グループ	12月5日(日)	森 信也	1
版画制作	12月8日(木)	久佐高子	4
グループ グループ	12月11日(土)	森 信也	1
グループ グループ	12月26日(日)	森 信也	1
	平成23年		
版画制作	1月19日(水)	久佐高子	4
版画制作	2月18日(金)	久佐高子	4
版画制作	3月18日(金)	久佐高子	2

入場者数一覽

展覧会観覧者数

■特別企画展等

展覧会名	一般			団体			招待	合計
	個人	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生		
シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展	13,391	1,173	198	3,980	74	6	5,919	24,741
シャガールーロシア・ アヴァンギャルドとの出会い	36,117	3,362	2,025	10,030	376	533	16,217	68,660
第45回福岡市美術展	2,874	82	—	—	—	—	2,756	5,712
ハンブルク浮世絵コレクション展	4,886	710	198	826	12	4	1,395	8,031

※「ハンブルク浮世絵コレクション展」(会期:平成23年3月17日～5月8日)は平成23年度の事業であるが、会期が年度をまたぐため、3月31日までの入場者数のみ記載した。

■常設展年間観覧者数

個人		団体		小・中生	老人等	合計
一般	高・大生	一般	高・大生			
13,343	1,332	19,264	2,308	16,969	15,111	68,327

※老人等とは、福岡市発行のシルバー手帳・北九州市発行の年長者施設利用証及び障がい者手帳提示者。

■年度別観覧者数

年度	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
13	307	49,243	4	58,028	195	290,399	199	397,670
14	304	52,912	4	75,472	203	308,245	207	436,629
15	307	57,449	4	330,467	214	351,668	218	739,584
16	306	47,998	3	437,739	207	373,377	210	859,114
17	306	80,109	4	197,258	208	296,472	212	573,839
18	306	95,579	4	245,463	193	328,743	197	669,795

※「第45回福岡市美術展」の開催数および観覧者数は「貸館展」に含まれる。

年度	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
19	306	70,327	4	77,238	188	283,587	192	431,152
20	306	67,813	3	139,064	204	314,565	207	521,442
21	307	62,036	4	149,327	174	249,017	178	460,380
22	306	68,327	3	101,432	187	304,052	190	473,811
累計	9,525	2,534,525	108	4,096,953	5,959	14,623,025	6,067	21,254,503

※「第45回福岡市美術展」の開催数および観覧者数は「貸館展」に含まれる。

読書室利用者数

月	月総数(人)	開館日数(日)	一日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	487	26	18	487	384,231
5	535	26	20	1,022	384,766
6	569	26	21	1,591	385,335
7	890	27	32	2,481	386,225
8	1,419	26	54	3,900	387,644
9	585	26	22	4,485	388,229
10	546	27	20	5,031	388,775
11	501	25	20	5,532	389,276
12	441	23	19	5,973	389,717
1	482	23	20	6,455	390,199
2	487	24	20	6,942	390,686
3	544	27	20	7,486	391,230
年総数	7,486	306	24		

小数点以下切捨

■美術館協議会委員

(50音順・敬称略・肩書きは平成22年度のもの)

会長	錦織亮介	北九州市立大学名誉教授
副会長	濱砂圭子	株式会社フラウ代表取締役社長
学校教育関係者	梅崎 薫	福岡市立柏原中学校教頭
	古田秀人	福岡市立那珂小学校校長
社会教育関係者	米丸政文	福岡市立福岡西陵高等学校校長
	小林俊子	福岡市青少年団体連絡会議理事
	辻 芳子	福岡市社会教育委員
	藤本昌代	社団法人福岡市老人クラブ連合会理事
学識経験者	松田瑞恵	福岡市PTA協議会副会長
	石川正知	財団法人福岡文化財団専務理事事務局長
	後小路雅弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
	京谷啓徳	九州大学准教授
	後藤新治	西南学院大学国際文化学部教授
	古野靖弘	社団法人福岡県美術協会理事長
	松尾孝司	西日本新聞報道センター都市圏総局記者
	室岡祐司	株式会社JTB九州地域活性化事業推進室室長
	山田 彰	福岡市美術展運営委員
	龍 秀美	秀巧社印刷株式会社嘱託

■収集審査委員

(50音順・敬称略・肩書きは平成22年度のもの)

近現代美術	乾 由明	兵庫陶芸美術館館長
	中村英樹	名古屋造形大学教授
	古川智次	福岡大学教授
古美術	菊竹淳一	九州産業大学教授
	小池富雄	徳川美術館企画情報部長
	佐藤留実	五島美術館学芸員
	原田あゆみ	九州国立博物館研究員

■職員

館長	永松正彦	学芸課長	渡邊雄二
副館長(運営部長事務代理)		学芸係長	岩永悦子
運営部長	甲木辰利	主任学芸主事	山口洋三
運営課長	徳永寛樹		三谷理華
運営係長	稲永幸一(9月30日まで)	学芸員	山本香瑞子
運営係	江原加代子(10月1日より)		後藤 恒
	長尾知早		正路佐知子
	西 邦彦		鷲頭 桂
展覧会等運営調整専任主査	石田昌平		吉田暁子
	石橋久嗣	嘱託員	ギャレット三宅万里子
			尾崎直人
			中山哲紀
			中原千代子
			中務美紀

平成22年度 福岡市美術館活動の記録

編集・発行 福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

TEL: 092-714-6051

デザイン **SOL DESIGN INC.**

印刷 正光印刷株式会社

発行年月日 2012年3月16日

©福岡市美術館 2012年

福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM